

平成30年版

# 消 防 年 報



沖縄市消防本部

(平成31年刊行)

## ま え が き

この年報は、平成30年中における本市消防の主要な業務および消防現勢を収録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く紹介するために編集しました。

なお、この年報の統計資料は、原則として歴年をもって表し、予算に係る事項については、会計年度で作成、それ以外のものについては、当該表にそれぞれ記載した年月日をもって表してあります。

平成31年

沖縄市消防本部

# 沖 縄 市 歌

屋 嘉 宗 克 作 詞  
奥 平 潤 作 曲

明るく元気に歩く速さで

1. みどりのかせよ ふるさいとよ  
2. かがやくそらよ あおいうみ

こちゅうぶのみさかなめ ゆたちかなる  
ごちゆうぶのみさかなめ ゆたちかなる

ぶんかの はなはり さてきり ほこりて  
へいかわの ひなかり さてきり ほこりて

ひらく しせいほ たくまし く  
いとわかきも てをとる て

とわにさかえ る おきなわ し

とわに さかえる おきなわ し

## 沖 縄 市 歌

一、みどりの風よ ふるさとよ

越来美里の 豊かなる

文化の花は 咲きほこり

ひらく市勢は たくましく

永遠に栄える 沖縄市

永遠に栄える 沖縄市

二、かがやく空よ 青い海

中部のかなめ 自治のまち

平和の光 照りはえて

若いも若きも 手をとりにて

永遠に栄える 沖縄市

永遠に栄える 沖縄市

# 歴代消防長

平成31年4月1日現在

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	永山盛和	昭和49年4月1日	昭和51年12月5日
二代	仲原英典	昭和51年12月6日	昭和55年2月20日
三代	高江洲盛昇	昭和55年3月1日	昭和60年3月31日
四代	外間清昌	昭和60年4月1日	昭和62年3月31日
五代	太田守昭	昭和62年4月1日	平成2年7月31日
六代	小谷良英	平成2年8月1日	平成7年3月31日
七代	城間盛一	平成7年4月1日	平成9年1月31日
八代	喜友名朝光	平成9年2月1日	平成10年1月31日
九代	仲宗根眞昌	平成10年2月1日	平成11年12月1日
十代	内間安彦	平成11年12月2日	平成15年3月31日
十一代	亀浜朝雄	平成15年4月1日	平成19年3月31日
十二代	内間安彦	平成19年4月1日	平成19年12月31日
十三代	長堂政美	平成20年1月1日	平成22年3月31日
十四代	高宮城寛	平成22年4月1日	平成29年3月31日
十五代	仲宗根繁	平成29年4月1日	

# も く じ

沖縄市全図	1
位置及び地勢	2
消防の沿革	3

## 総務関係

消防本部組織図	11
消防本部事務分掌	12
消防予算（平成30年度当初）	14
市の予算と消防費（予算現額）	15
人口・世帯当り消防費所要額	15
消防職員の定数及び実員	15
職員の取得免許・資格等調	16
職員及び団員の実務研修状況調	17
職員の階級別年齢調	18
職員の勤続年数調	19

## 消防施設

消防施設	21
車両番号及び無線呼出名称	22
特殊機械器具等保有状況	23
特殊機械器具等保有状況（救急資器材）	24
特殊機械器具等保有状況（BC資機材）	24
消防水利現勢	25

## 警防関係

消防職員の訓練実施状況	27
救助隊の設置状況	28
事故種別救助出動件数及び活動件数	28
事故種別救助人員及び搬送車両等の内訳	28
消防機関の出動状況	29
過去5年間の出動件数及び出動人員	29

## 予 防 関 係

防火対象物	31
防火対象物件数	31
消防用設備等の審査と検査	32
月別消防用設備等検査状況	32
過去3年間の消防用設備等検査状況	32
用途別建築同意件数調	33
消防用設備等設置状況	34
自治会別建築同意件数調	36
中高層建築物（4階以上）の現況表	37
防火管理者制度	38
防火管理者選任状況	38
防火管理者資格取得講習会実施状況	38
避難訓練実施状況	39
危険物規制	40
危険物製造所等の許可施設数	40
危険物製造所等の承認届出状況	40
危険物製造所等の許可検査状況	41
火災予防条例による規制	42
火災予防条例に係る各種届出件数状況	42
火災概況	43
火災統計総括	44
時間別火災発生状況	45
月別火災件数・損害額	45
月・曜日別火災件数及び損害額	46
平成30年中の火災原因別発生件数と損害額	47
自治会別火災発生件数及び損害額	48
過去5年間の火災発生状況	49
過去10年間の建物火災用途別発生状況	50
過去10年間の火災状況	51
防火防災ビデオ・DVD保有一覧	51
防災研修センター利用者状況	52

## 救急関係

月別救急状況	53
事故種別救急出動件数	54
事故種別救急搬送人員	55
曜日別救急出動状況調	56
時間別救急出動件数調	57
時間別搬送人員調	58
事故種別傷病程度別搬送人員調	59
事故種別年齢区分別搬送人員調	59
現場到着所要時間別出動件数調	60
収容所要時間別搬送人員調	60
管内管外別搬送人員調	61
発生場所別搬送人員調	61
救急隊員の行った応急処置件数調	62
転院状況調	63
病院別搬送人員調	64
本署・出張所出動件数調	64
過去5年間の救急出動状況調	65
発生地（自治会）別出動件数調	66
市民に対する救急法講習実施状況	67
救急法講習の種類と内容	67

## 通信関係

高機能消防指令センター設備	69
消防・救急デジタル無線設備	69
高機能消防指令センターシステム系統図	70
119入電状況	71
災害別119受信件数	72

## 気象

気象状況調	73
月別・平均気温・平均湿度調	74
沖縄近海に接近した台風	74

## 消 防 団 関 係

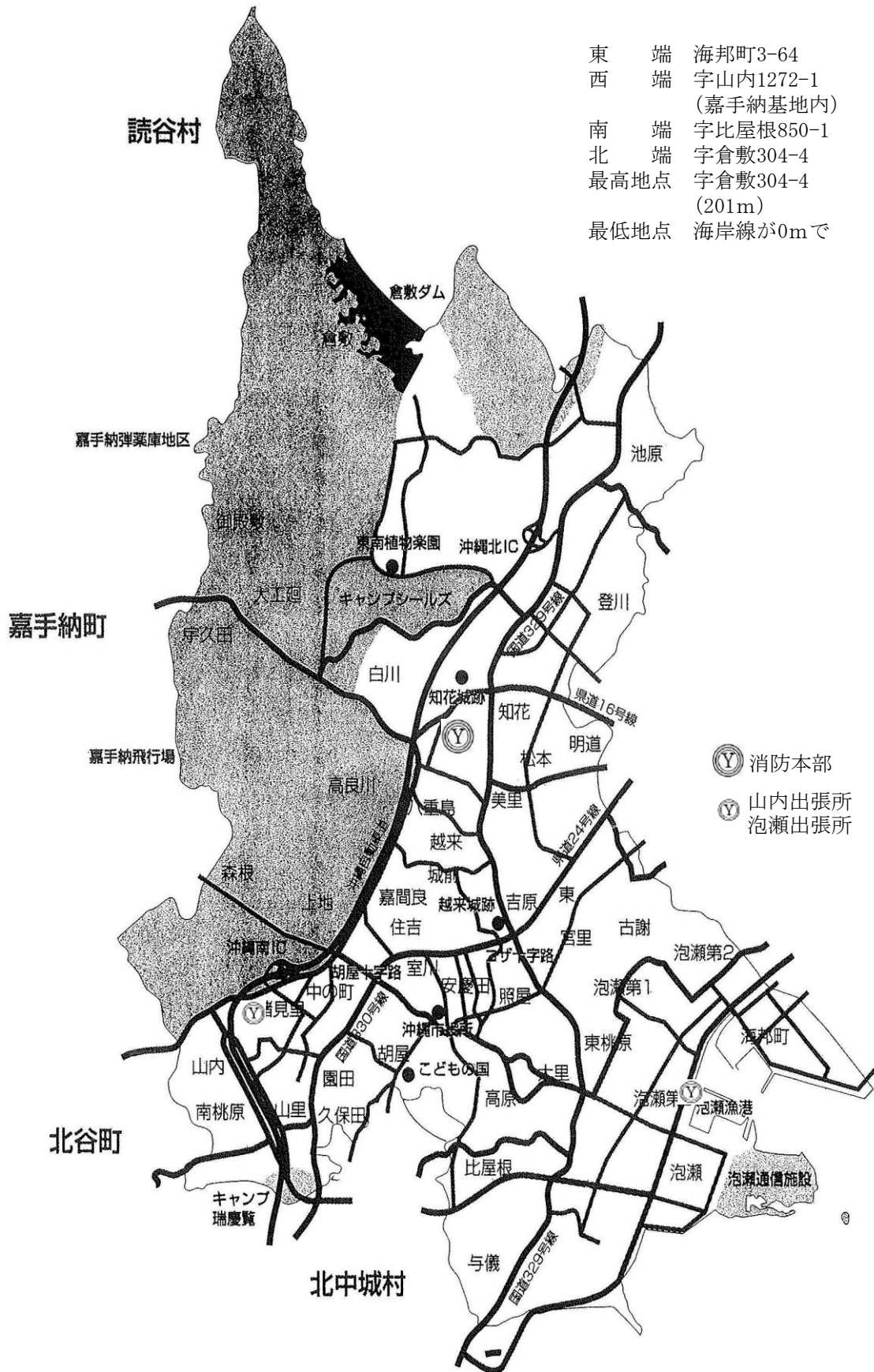
沖縄市消防団の組織図	75
消防団の沿革	76
消防団員の定数及び実員	78
消防団員の報酬及び費用弁償額	78
消防団員の年齢調	78
消防団員の勤続年数調	79
消防団機械	79
消防団員出動状況	79

## 女性防火クラブ・幼年消防クラブ

女性防火クラブ・役員・会員数	81
女性防火クラブの趣旨	82
女性防火クラブの沿革	82
平成30年度女性防火クラブ事業経過報告	83
幼年消防クラブ役員名簿・幼年消防クラブ会員	85
幼年消防クラブの目的・クラブ活動・法被（はっぴ）の貸与	86
防火宣言・防火のちかい	87



# 沖縄市全図



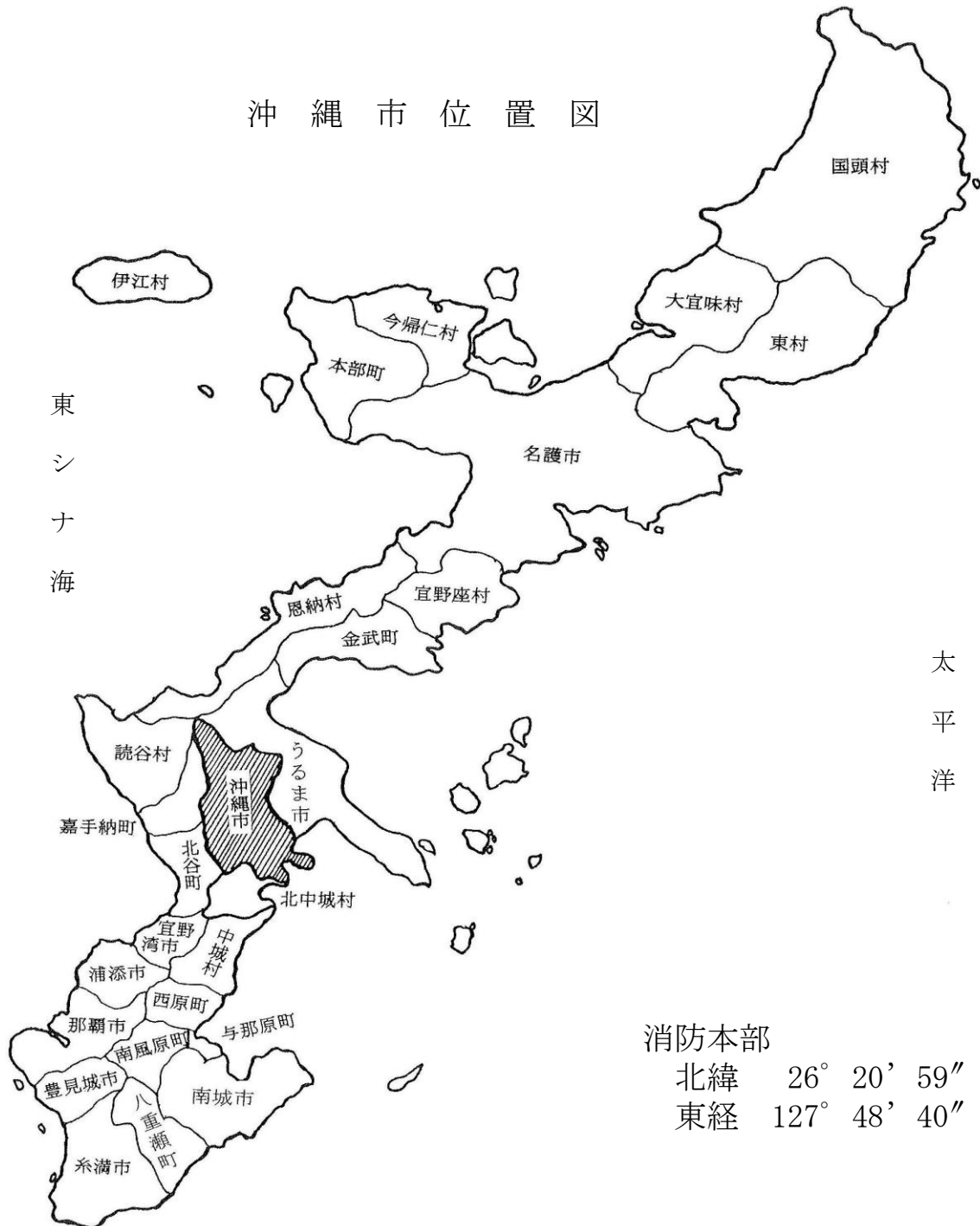
# 位置及び地勢

沖縄市は、沖縄本島の中部にあつて、県都那覇市の北方22kmに位置し、東はうるま市具志川、西は嘉手納飛行場を挟んで北谷町、嘉手納町、南に北中城村、更に北はうるま市石川、読谷村に囲まれた中部の中心商業都市である。

地勢はおおむね丘陵台地で形成され、市の総面積は49.72km<sup>2</sup>（平成27年度版沖縄市統計書より）そのうち約33.99%（16.90km<sup>2</sup>）は米軍基地、約1.39%（0.69km<sup>2</sup>）は自衛隊基地が占め、残りの約64.62%（32.13km<sup>2</sup>）に14万人余の市民が居住している。

道路は市の中央を東西に国道330号線、南北に国道329号線が交差して走り、沖縄本島中部における交通の要所をなしている。

沖縄市位置図





年 月 日	事 項
昭和 50 年 3 月 10 日	日本損害保険協会より救急車3B型寄贈（日産）
8 月 1 日	消防吏員5人増員し、消防吏員75人、事務吏員1人、計76人となる
10 月 8 日	第6回沖縄県消防人のつどいを当市で開催、県内各地より220人参加
11 月 5 日	小型動力ポンプ付積載車購入（日産）
昭和 51 年 1 月 27 日	水槽付消防ポンプ自動車（1,500L）購入（日野）
9 月 27 日	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車(1,600L) 寄贈(いすゞ)
10 月 22 日	財団法人沖縄国際海洋博覧会協会より寄贈された救急消防一斉指令装置運用開始
11 月 9 日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）2基設置（古謝・松本）
12 月 6 日	永山盛和消防長退任、第2代目消防長に仲原英典就任
昭和 52 年 9 月 14 日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）2基設置（比屋根・与儀）
昭和 53 年 3 月 30 日	小型動力ポンプ付水槽車（10,000L）購入（いすゞ）
昭和 54 年 1 月 6 日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）4基設置（胡屋・安慶田・諸見里・大里）
2 月 16 日	水槽付消防ポンプ自動車（2,000L）購入（三菱）
12 月 13 日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）3基設置（山内・室川・美里）
昭和 55 年 2 月 20 日	仲原英典消防長退任
3 月 1 日	第3代目消防長に高江洲盛昇就任
3 月 3 日	無線移動局（10W）2基購入
3 月 4 日	器具積載車購入（トヨタ）（特定防衛施設周辺整備調整交付金）
3 月 11 日	水槽付消防ポンプ自動車（2,000L）購入（三菱）
3 月 26 日	救急車（2B型）購入（トヨタ）
3 月 29 日	普通消防ポンプ自動車(BD-I型)購入(日産) (特定防衛施設周辺整備調整交付金)
11 月 5 日	消防吏員3人増員、計79人となる
11 月 22 日	水槽付消防ポンプ自動車（2,000L）購入
12 月 17 日	予防査察車購入（トヨタ）
12 月 23 日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）3基設置（センター・池原・登川）
昭和 56 年 3 月 19 日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）1基設置（泡瀬第三）
10 月 14 日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）2基設置（松本・登川）
昭和 57 年 9 月 16 日	日本消防協会より消防用無線機（1W）1基寄贈
10 月 29 日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）1基設置（美里）

年 月 日	事 項
昭和 57 年 10 月 30 日	連絡車購入（トヨタ）
11 月 11 日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）1基設置（越来）
11 月 16 日	小型動力ポンプ付水槽車（5,000L）購入（いすゞ）
昭和 58 年 2 月 26 日	38m級はしご付消防自動車購入（モリタ）
7 月 28 日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）1基設置（池原）
8 月 11 日	日本消防協会より緊急給水用ろ水器1台寄贈
11 月 1 日	沖縄県防災行政無線局運用開始
12 月 15 日	救急車（2B型）購入（トヨタ）
昭和 59 年 6 月 16 日	沖縄市婦人防火クラブ結成、初代会長に内里栄子就任10支部会員216人
8 月 28 日	日本消防協会より婦人防火クラブ用軽可燃消防ポンプ5台寄贈
9 月 13 日	日本消防協会より電源照明車1台寄贈（日産）
昭和 60 年 3 月 31 日	高江洲盛昇消防長退任
4 月 1 日	第4代目消防長に外間清昌就任
4 月 25 日	全国消防長会九州消防職員意見発表会において最優秀賞受賞 消防士 比嘉安成
9 月 9 日	日本消防協会より婦人防火クラブ用軽可燃消防ポンプ6台寄贈
10 月 25 日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）1基設置（松本）
昭和 61 年 9 月 6 日	日本消防協会より救急車（2B型）1台寄贈（日産）
10 月 28 日	第2回全国婦人消防操法大会に婦人防火クラブ出場（横浜市）
昭和 62 年 3 月 31 日	外間清昌消防長退任
4 月 1 日	第5代目消防長に太田守昭就任
7 月 3 日	日本消防協会より広報車（防火号）1台寄贈（トヨタ）
9 月 10 日	日本損害保険協会より普通消防ポンプ自動車（BD-I型）1台寄贈（トヨタ）
9 月 30 日	無線機携帯局（5W 1 基・1W8基）購入
10 月 25 日	第42回国民体育大会（海邦国体）消防警備実施 （10月25日～10月30日）
11 月 14 日	第23回全国身体障害者スポーツ大会（かりゆし大会） 消防警備実施（11月14日～15日）
11 月 24 日	救急車（2B型）1台購入（トヨタ） （特定防衛施設周辺整備調整交付金） 無線機移動局（10W）1基購入

年 月 日	事 項
昭 和 63 年 11 月 7 日	予防広報車購入（トヨタ）
平 成 元 年 2 月 27 日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）1基設置（中の町）
7 月 25 日	防火水槽移設（旧美里公民館）
12 月 1 日	司令車購入（日産）
〃	議会事務局から主管変更により人員輸送車を配置（トヨタ）
平 成 2 年 3 月 20 日	小型動力ポンプ付水槽車（5,000L）購入（いすゞ）
3 月 31 日	消防庁舎基本設計完了
8 月 1 日	太田守昭消防長、市長部局へ異動、第6代目消防長に小谷良英就任
平 成 3 年 2 月 22 日	消防仮庁舎（コザ総合運動公園内）へ移転
3 月 14 日	沖縄市職員条例の一部改正により、消防職員の定数は82人となる
4 月 1 日	消防職員の定数改正により、増員採用し、職員数82人となる
平 成 4 年 2 月 13 日	無線機移動局3基買い替え
3 月 31 日	事務連絡車購入（トヨタ）
平 成 5 年 3 月 15 日	社団法人 日本自動車工業より救急自動車（2B型）の寄贈（日産）
3 月 16 日	救助工作車Ⅱ型および救助資機材購入（いすゞ）（国庫補助）
平 成 6 年 2 月 28 日	水槽付消防ポンプ自動車（2,000L）購入（いすゞ）
6 月 30 日	沖縄市職員定数条例の一部改正により、消防職員の定数は86人となる
平 成 7 年 1 月 27 日	機材運搬兼連絡車購入（日産）
2 月 1 日	4人増員採用、職員数86人となる
3 月 31 日	小谷良英消防長退任
4 月 1 日	第7代目消防長に城間盛一就任
11 月 29 日	予防広報車購入（日産）
平 成 8 年 2 月 26 日	水槽付消防ポンプ自動車（2,000L）購入（国庫補助）
平 成 9 年 2 月 1 日	城間盛一消防長、消防参事に就任、第8代目消防長に喜友名朝光就任
3 月 19 日	小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型購入（いすゞ）（国庫補助）
4 月 1 日	三部制交代勤務開始
7 月 7 日	防火水槽（40m <sup>3</sup> ）3基設置（山内第二・センター・照屋児童公園）
平 成 9 年 10 月 7 日	美里出張所プレハブ仮庁舎開所
平 成 10 年 1 月 31 日	城間盛一消防参事退任、喜友名朝光消防長消防参事就任
2 月 1 日	第9代目消防長に仲宗根眞昌就任
2 月 19 日	広報車 購入（日産）

年 月 日	事 項
平成 10 年 9 月 11 日	救助隊・水難救助隊発隊式
平成 11 年 3 月 24 日	高規格救急自動車購入（日産）（消防防災設備整備補助）
3 月 25 日	沖縄市消防庁舎・訓練塔及び防災研修センター完成
〃	消防緊急通信指令施設（Ⅱ型）購入（消防防災設備整備補助）
4 月 12 日	庁舎移転及び業務開始
5 月 28 日	消防庁舎・防災研修センター落成式
6 月 22 日	救急救命士業務運用開始（署）
11 月 5 日	水難救助支援車購入
12 月 1 日	仲宗根眞昌消防長退任
12 月 2 日	第10代目消防長に内間安彦就任
平成 12 年 2 月 28 日	消防署山内出張所落成
3 月 13 日	消防署山内出張所業務開始
7 月 19 日	2000年九州・沖縄サミット沖縄市地区警戒本部設置
～ 7 月 23 日	ポンプ隊 4隊×5人 指揮情報員 4人 予防要員2人 計26人
平成 13 年 2 月 19 日	高規格救急自動車購入（日産）（特定防衛施設周辺整備調整交付金）
3 月 16 日	水槽付消防ポンプ自動車購入2,000L（水Ⅱ）（三菱） （消防防災設備整備補助）
平成 14 年 2 月 21 日	幼年消防クラブ結成
2 月 28 日	携帯電話による119メール及び119番FAX運用開始
3 月 26 日	水難救助艇及び水上バイク購入（特定防衛施設周辺整備調整交付金）
4 月 1 日	消防職員の定数改正により3人増員 職員数89人 女性救急救命士採用
〃	BCテロ対応資機材導入（消防庁より貸与）
11 月 29 日	照明車購入（三菱）
平成 15 年 4 月 1 日	内間安彦消防長、市長部局へ異動、第11代目消防長に亀浜朝雄就任
平成 16 年 3 月 19 日	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型購入（消防防災設備整備補助金）
3 月 25 日	消火栓標識設置219基（特定防衛施設周辺整備調整交付金）
4 月 1 日	緊急消防援助隊登録
平成 17 年 2 月 17 日	高規格救急自動車購入（日産）（民生安定施設助成）
4 月 1 日	消防職員の定数改正により5人増員 職員数94人
6 月 10 日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加
～ 6 月 11 日	ポンプ隊 1隊×5人（静岡）

年 月 日	事 項
平成 18 年 3 月 15 日	小型動力ポンプ付水槽車 I 型購入（沖縄振興特別交付金）
4 月 2 日	消防署泡瀬出張所業務開始
4 月 18 日	消防署泡瀬出張所落成式
平成 19 年 3 月 13 日	高規格救急自動車購入（日産）（防衛施設周辺民生安定施設整備事業）
3 月 13 日	亀浜朝雄消防長退任
4 月 1 日	第12代目消防長に内間安彦就任 消防職員の定数改正により3人増員 職員数97人
12 月 31 日	内間安彦消防長退任
平成 20 年 1 月 1 日	第13代目消防長に長堂政美就任
12 月 22 日	財団法人日本消防協会から多機能型車両寄贈
平成 21 年 3 月 10 日	はしご付き消防ポンプ自動車購入（日本機械） （防衛施設周辺民生安定施設整備事業）
平成 22 年 1 月 28 日	予防広報車購入（トヨタ）（特定防衛施設周辺整備調整交付金）
3 月 26 日	消防緊急通信指令施設整備（一部改修） （地域活性化・経済危機対策臨時交付金） 携帯電話・I P 電話位置情報通知システム導入 （地域活性化・生活対策臨時交付金）
3 月 31 日	長堂政美消防長退任
4 月 1 日	第14代目消防長に高宮城寛就任
平成 23 年 1 月 28 日	高規格救急自動車購入（トヨタ）（防衛施設周辺民生安定施設整備事業）
2 月 3 日	移動式高圧空気圧縮機購入（特定防衛施設周辺整備調整交付金）
2 月 17 日	空気呼吸器(30Mpa)及び高圧空気容器(30Mpa)購入 （特定防衛施設周辺整備調整交付金）
3 月 17 日	緊急消防援助隊派遣（東日本大震災）
～ 3 月 22 日	消火隊 1隊×5人（岩手県九戸郡野田村）
3 月 25 日	消防資器材整備（バルーン型灯光器、A E D等） （特定防衛施設周辺整備調整交付金）
平成 24 年 3 月 2 日	緊急人員搬送車購入（日産） （特定防衛施設周辺整備調整交付金）
3 月 8 日	高圧空気容器(30Mpa)購入（特定防衛施設周辺整備調整交付金）
3 月 9 日	資機材搬送車購入（いすゞ）（特定防衛施設周辺整備調整交付金）



年 月 日	事 項
平成 24 年 3 月 22 日	消防資機材整備（特定小電力トランシーバー、潜水資機材、 OA機器、普及啓発資機材、自動心臓マッサージ器、 救助資機材）（特定防衛施設周辺整備調整交付金）
4 月 1 日	沖縄市職員定数条例の一部改正により、消防職員の定数112人
12 月 26 日	警防広報車購入（日産）（特定防衛施設周辺整備調整交付金）
平成 25 年 2 月 28 日	高規格救急車（トヨタ）・高度救命処置用資機材購入 （防衛施設周辺民生安定施設整備事業）
3 月 8 日	指揮車購入（日産）（特定防衛施設周辺整備調整交付金）
3 月 15 日	小型動力ポンプ付き水槽車 I 型購入（いすゞ） （特定防衛施設周辺整備調整交付金）
3 月 22 日	救助資機材・水上バイク等購入 （特定防衛施設周辺整備調整交付金）
3 月 29 日	全国共済農業協同組合連合会沖縄県本部から高規格救急自動車 寄贈（平成24年度交通事故対策活動）
11 月 20 日	防災研修センターリニューアルオープンセレモニー
12 月 28 日	防災研修センター運用開始（沖縄振興特別推進市町村交付金）
12 月 26 日	救命処置普及強化事業（救命講習資機材、普及啓発車、 OA機器資機材、自動体外除細動器等） （沖縄振興特別推進市町村交付金）
	市内コンビニエンスストア（ファミリーマート、ローソン、 ココストア）AED設置事業覚書締結
平成 26 年 3 月 18 日	火災予防広報車購入（マツダ） （特定防衛施設周辺整備調整交付金）
3 月 25 日	救助工作車（II型）購入（日野） （防衛施設周辺民生安定施設整備事業）
3 月 31 日	消防団ポンプ自動車（CD-1型）購入（日野） （特定防衛施設周辺整備調整交付金）
12 月 18 日	水槽付消防ポンプ自動車（II型）購入（緊急防災・減災事業債）
平成 27 年 2 月 27 日	山内出張所 消防活動広報自動車購入 （特定防衛施設周辺整備調整交付金）
3 月 24 日	消防救急デジタル無線設備整備工事（緊急防災・減災事業債）
平成 28 年 3 月 15 日	高機能消防指令センター整備事業（緊急防災・減災事業債）

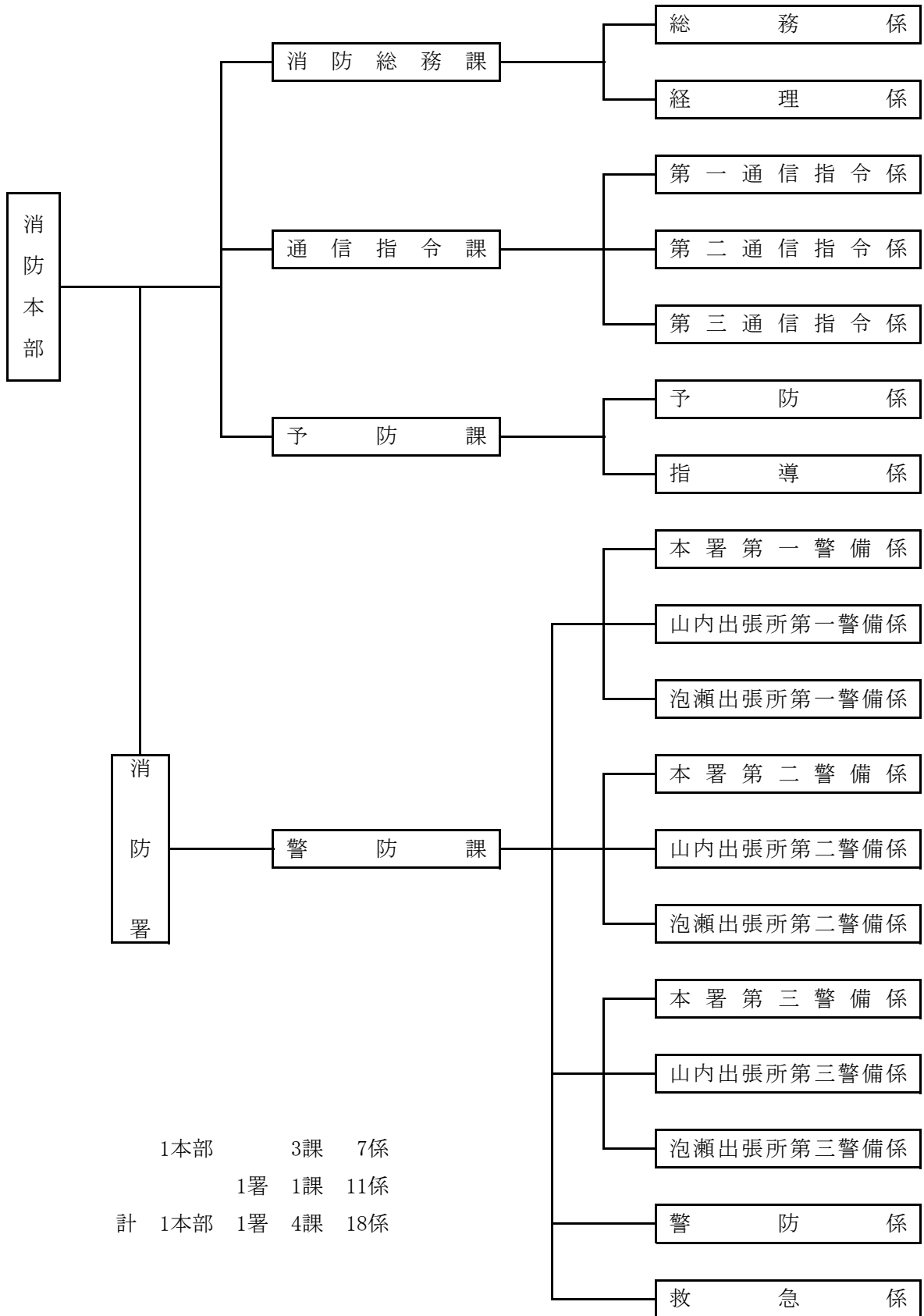
年 月 日	事 項
平成 28 年 3 月 17 日	小型動力ポンプ付き水槽車Ⅰ型購入（いすゞ） （特定防衛施設周辺整備調整交付金）
3 月 30 日	指揮支援広報自動車購入（マツダ） （特定防衛施設周辺整備調整交付金）
平成 29 年 2 月 17 日	防火衣一式購入（石油貯蔵施設立地対策等補助金）
2 月 21 日	水難救助艇・ボートトレーラー購入 （石油貯蔵施設立地対策等補助金）
3 月 16 日	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）購入（モリタ） （防衛施設周辺民生安定施設整備事業）
3 月 31 日	高宮城寛消防長退任
4 月 1 日	第15代目消防長に仲宗根繁就任 機構改革の実施 消防本部へ通信指令課を新設 警防課を消防本部から消防署へ移管し警備課と統合 （警備課の名称廃止） 総務課を名称改正し消防総務課へ改める
10 月 13 日	高規格救急自動車（トヨタ）、高度救命処置用資機材購入 （緊急防災・減災事業債）
平成 31 年 1 月 22 日	防火衣、消防用ホース、除染資機材、救助資機材、救急資機材 購入（石油貯蔵施設立地対策等補助金）
3 月 18 日	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）購入（モリタ） （特定防衛施設周辺整備調整交付金）

# 總務關係



# 消防本部組織図

平成31年4月1日



	1本部		3課	7係
		1署	1課	11係
計	1本部	1署	4課	18係

# 消防本部事務分掌

## 《 消防総務課 》

### 総務係

- (1) 消防関係条例、規則、規定等の制定改廃に関すること。
- (2) 職員の研修及び監察に関すること。
- (3) 公印の保管及び文書の収発保有に関すること。
- (4) 情報公開に関すること。
- (5) 消防整備計画及び庶務に関すること。
- (6) 貸与品及び物品の出納保管に関すること。
- (7) 消防職員委員会に関すること。
- (8) 消防団員の人事、給与、服務、賞罰及び身分に関すること。
- (9) 他の課及び係の主管に属しないこと。

### 経理係

- (1) 消防職員の人事、給与、服務、賞罰及び身分に関すること。
- (2) 消防予算及び決算に関すること。
- (3) 職員の厚生保健に関すること。
- (4) 公務災害補償に関すること。

## 《 予防課 》

### 予防係

- (1) 防火宣伝及び啓発に関すること。
- (2) 火災予防の指導及び査察に関すること。
- (3) 火災原因及び損害に関すること。
- (4) 気象及び火災警報に関すること。
- (5) 煙火及び林野火入れ並びに仮設興行場に関すること。
- (6) 防火対象物の管理及び防火管理者に関すること。
- (7) 消防統計及び情報に関すること。
- (8) 防火委員会に関すること。
- (9) 防災研修センターに関すること。
- (10) その他災害予防に関すること。
- (11) 自衛消防隊に関すること。

### 指導係

- (1) 危険物製造所等の許認可に関すること。
- (2) 危険物製造所等の査察及び指導に関すること。
- (3) 少量危険物及び準危険物の規制に関すること。
- (4) 建築同意事務に関すること。
- (5) 消防用設備等の指導及び検査に関すること。
- (6) 消防手数料に関すること。

## 《 通 信 指 令 課 》

### 通 信 指 令 係

- (1) 消防通信の運用に関する事。
- (2) 消防部隊の出動指令に関する事。
- (3) 通信施設の整備及び管理に関する事。
- (4) 消防気象観測に関する事。
- (5) 災害情報の収集及び伝達に関する事。
- (6) 関係機関との連絡に関する事。
- (7) 消防水利及び地理調査の入力に関する事。
- (8) 非常招集に関する事。
- (9) その他通信に関する事。

## 《 警 防 課 》

### 第 1 警 備 係、第 2 警 備 係、第 3 警 備 係

- (1) 水火災の警戒防衛活動に関する事。
- (2) 救急及び救助活動に関する事。
- (3) 受持区域内の消防地理及び水利の調査に関する事。
- (4) 受持区域内の火災予防査察に関する事。

### 警 防 係

- (1) 警防業務の計画及び調査に関する事。
- (2) 消防水利の設置及び維持管理に関する事。
- (3) 開発行為に関する事。
- (4) 自主防災組織に関する事。
- (5) 消防相互応援に関する事。
- (6) 緊急消防援助隊に関する事。
- (7) 署所の連絡調整に関する事。
- (8) 消防設備機械器具の維持管理に関する事。
- (9) 消防団の訓練に関する事。
- (10) 訓練計画の調整に関する事。
- (11) 指揮隊の運用に関する事。
- (12) その他警防に関する事。

### 救 急 係

- (1) 救急業務の計画及び調査に関する事。
- (2) 医療機関その他関係機関との連絡調整に関する事。
- (3) 市民に対する応急手当の普及啓発に関する事。
- (4) 救急統計に関する事。
- (5) 救急隊の運用計画及び訓練に関する事。
- (6) 救急技術の指導及び研究に関する事。
- (7) その他救急に関する事。

## 消 防 予 算 (平成30年度当初)

(単位：千円)

項	目	節	区 分	当初予算額	
消防費 1,138,788	1. 常備消防費 899,679	1	報 酬	13,468	
		2	給 料	378,564	
		3	職 員 手 当	315,971	
		4	共 済 費	141,794	
		7	賃 金	3,196	
		8	報 償 費	108	
		9	旅 費	2,640	
		11	需 用 費	15,002	
		12	役 務 費	5,615	
		13	委 託 料	1,051	
		14	使用料及び賃借料	320	
		15	工 事 請 負 費	0	
		16	原 材 料 費	0	
		18	備 品 購 入 費	18,508	
		19	負担金補助及び交付金	3,442	
		2. 非常備消防費 16,660	1	報 酬	2,892
			9	旅 費	5,436
			11	需 用 費	437
			12	役 務 費	0
	13		委 託 料	0	
	18		備 品 購 入 費	4,734	
	19		負担金補助及び交付金	3,161	
	3. 消防施設費 222,449	1	報 酬	0	
		4	共 済 費	0	
		7	賃 金	0	
		9	旅 費	169	
		11	需 用 費	27,314	
		12	役 務 費	6,709	
		13	委 託 料	24,696	
		14	使用料及び賃借料	479	
		15	工 事 請 負 費	15,537	
		16	原 材 料 費	133	
		18	備 品 購 入 費	133,621	
		19	負担金補助及び交付金	12,768	
		25	積 立 金	0	
	27	公 課 費	1,023		
	合 計				1,138,788

## 市の予算と消防費（予算現額）

（単位：円）

年 度	市 全 体	消 防 費	比率 (%)	備 考
平成27年度	68,427,519,639	1,559,020,000	2.28	
平成28年度	69,941,217,690	1,109,178,000	1.59	
平成29年度	71,646,588,061	1,024,977,000	1.43	
平成30年度	72,789,703,883	1,150,466,000	1.58	

## 人口・世帯当り消防費所要額

（人口・世帯数は各年の3月31日現在）

区 分 年 度	一人当消防費 (円)	一世帯当消防費 (円)	算定の基準	
			人 口	世帯数
平成27年度	11,071	26,395	140,816	59,065
平成28年度	7,836	18,433	141,543	60,172
平成29年度	7,242	16,784	141,540	61,070
平成30年度	8,100	18,447	142,027	62,367

## 消防職員の定数及び実員

（平成31年4月1日現在）

区 分 人 員	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消防士	その他	計
条例定数	112								112
実 員	1	2	15	32	26	29	6	1	112



## 職員の取得免許・資格等調

平成31年4月1日現在

階級別 免許・資格	消 防 監	司 消 令 長防	司 消 令 防	司 消 令 補防	士 消 長防	副 消 士 長防	消 防 士	計
職 員 数	1	2	15	32	26	29	6	111
大型自動車第一種運転免許	1	2	15	32	26	29	6	111
大型特殊自動車運転免許				2				2
普通自動車第一種運転免許	1	2	15	32	23	32	6	111
自動二輪運転免許	1	1	5	14	14	11	2	48
救 急 救 命 士			6	11	12	13	4	46
救 急 適 任 者	1	2	9	21	11	19	1	64
応 急 手 当 指 導 員	1	2	11	31	22	29	2	98
日赤水上安全法指導員					4	1		5
日赤水上安全法救助員			2	6	13	20	3	44
陸上特殊無線技士（2級）			9	11	1	1		22
陸上特殊無線技士（3級）		1	4	20	22	31	6	84
陸上特殊無線技士（電話乙）			1					1
陸上特殊無線技士（電話甲）	1	1	1	1				4
潜 水 士	1	1	13	29	22	29	3	98
移 動 式 ク レ ー ン	1	1	9	19	14	10		54
玉 掛 け 技 能			8	19	12	11		50
危 険 物 取 扱 者（甲種）				1	1			2
危 険 物 取 扱 者（乙種・1類）				1	3	3	1	8
危 険 物 取 扱 者（乙種・3類）				1	3	2	1	7
危 険 物 取 扱 者（乙種・4類）			3	10	13	9	2	37
危 険 物 取 扱 者（乙種・5類）				1	3	2	1	7
危 険 物 取 扱 者（乙種・6類）				1	3	1	1	6
危 険 物 取 扱 者（丙種）					1	1		2
小 型 船 舶 操 縦 士（1級）				3	2			5
小 型 船 舶 操 縦 士（2級）	1	1	6	16	17	26	5	72
小 型 船 舶 操 縦 士（4級）								0
小 型 船 舶 操 縦 士（特殊）			2	11	14	27		54
小 型 船 舶 操 縦 士（シ`ェット）				1	3	2	6	12
け ん 引				3				3
自 動 車 整 備 士								0
消 防 設 備 士（甲種・1類）				1				1
消 防 設 備 士（甲種・2類）				1				1
消 防 設 備 士（乙種・1類）				1				1
消 防 設 備 士（乙種・2類）				1				1
消 防 設 備 士（乙種・3類）				1				1
消 防 設 備 士（乙種・4類）				1	1	3	1	6
消 防 設 備 士（乙種・6類）				4	3	2		9
消 防 設 備 士（乙種・7類）				1		1		2
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者			8	15	4			27
予 防 技 術 検 定（予 防 査 察）			1	3	2			6
予 防 技 術 検 定（消 防 設 備）				2	4			6
予 防 技 術 検 定（危 険 物）				2	4			6
毒 劇 物 取 扱 責 任 者					1			1
特 定 化 学 物 質 等 作 業 主 任 者		1	1					2
第 一 種 安 全 衛 生 管 理 者								0
第 二 種 安 全 衛 生 管 理 者			2	1				3
安 全 衛 生 推 進 者				8				8
特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 責 任 者			1	4				5



# 職員の階級別年齢調

平成31年4月1日現在

階級 年齢	計	消防 監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防 士	5人		10人	
									5人		10人	
合計	111	1	2	15	32	26	29	6				
18歳	0											
19歳	0											
20歳	0											
21歳	0											
22歳	0											
23歳	0											
24歳	1							1				
25歳	0											
26歳	4						3	1				
27歳	4						2	2				
28歳	3						2	1				
29歳	7						7					
30歳	7					1	5	1				
31歳	3						3					
32歳	1						1					
33歳	7					3	4					
34歳	3					3						
35歳	5					4	1					
36歳	7					6	1					
37歳	5					5						
38歳	4				3	1						
39歳	5				2	3						
40歳	1				1							
41歳	5				5							
42歳	3				3							
43歳	4			1	3							
44歳	2				2							
45歳	3			1	2							
46歳	3			2	1							
47歳	4			2	2							
48歳	2			2								
49歳	1				1							
50歳	3			1	2							
51歳	3			2	1							
52歳	1				1							
53歳	1				1							
54歳	2				2							
55歳	3		1	2								
56歳	0											
57歳	0											
58歳	2	1		1								
59歳	2		1	1								
60歳	0											
61歳	0											

5人

10人

# 職員の勤続年数調

平成31年4月1日現在

階級 年数	計	消防 監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防 士	5人		10人	
									5人		10人	
合計	111	1	2	15	32	26	29	6				
1年未満	0											
1年	0											
2年	1							1				
3年	0											
4年	5							5				
5年	6							6				
6年	6							6				
7年	2							2				
8年	10							10				
9年	5							5				
10年	4					4						
11年	2				1	1						
12年	5					5						
13年	6					6						
14年	7					7						
15年	4				1	3						
16年	1				1							
17年	5				5							
18年	3				3							
19年	3				3							
20年	2				2							
21年	6			2	4							
22年	3			2	1							
23年	0											
24年	7			3	4							
25年	0											
26年	2				2							
27年	0											
28年	6			3	3							
29年	2			1	1							
30年	2			2								
31年	1				1							
32年	2		1	1								
33年	0											
34年	0											
35年	1	1										
36年	0											
37年	1			1								
38年	1		1									
39年	0											
40年	0											

5人 10人

# 消防施設



# 消 防 施 設

平成31年4月1日現在

## 庁舎（消防本部・消防署）

所 在 地	沖縄県沖縄市美里五丁目29番1号
構 造	鉄筋コンクリート造地下1階、地上3階建
建 築 面 積	1,707.87㎡
延 べ 面 積	3,762.68㎡
建 築 年 月 日	平成11年3月25日

## 山内出張所

所 在 地	沖縄県沖縄市山内一丁目12番10号
構 造	鉄筋コンクリート造1階建
建 築 面 積	861.66㎡
延 べ 面 積	803.41㎡
建 築 年 月 日	平成12年2月28日

## 泡瀬出張所

所 在 地	沖縄県沖縄市泡瀬一丁目11番3号
構 造	鉄筋コンクリート造2階建
建 築 面 積	792.03㎡
延 べ 面 積	875.87㎡
建 築 年 月 日	平成18年3月15日

## 車両及び艇

種 別	台数	適 用
指 令 車	1	マツダ
指 揮 車	1	ニッサン
連 絡 車	2	スズキ・トヨタ
広 報 車	4	トヨタ・ニッサン・マツダ
人 員 搬 送 車	1	ニッサン
積 載 車	1	トヨタ
資 器 材 搬 送 車	1	いすゞ
電 源 照 明 車	1	三菱
救 助 工 作 車	1	日野
水 難 救 助 支 援 車	1	日野
は し ご 付 消 防 自 動 車	1	ニッサンディーゼル
水 槽 付 ポ ン プ 自 動 車	4	いすゞ・日野
小 型 動 力 ポ ン プ 付 水 槽 車	3	いすゞ
高 規 格 救 急 自 動 車	5	日産・トヨタ
普 及 啓 発 車	1	ニッサン
救 助 艇 ・ 水 上 バ イ ク	2	ZODIAC / BRP
ト レ ー ラ ー ( 救 助 艇 ・ 水 上 バ イ ク )	2	LOFT TRAILER
計	32	※消防団車両は別記

## 車両番号及び無線呼出名称

令和元年5月1日現在

本 部				
車両番号	無線呼出名称	用 途	年式及び車名	登録番号
1号車	沖縄司令	司令車	平成28年 マツダ	沖縄 800 す 7528
2号車	沖縄総務	総務連絡車	平成20年 スズキ	沖縄 580 た 8141
3号車	沖縄予防	予防広報車	平成22年 トヨタ	沖縄 800 す 2671
4号車	沖縄指導	予防広報車	平成26年 マツダ	沖縄 800 す 5901
5号車	沖縄警防	警防広報車	平成24年 日産	沖縄 800 す 4892
25号車	消防団ポンプ	消防団ポンプ車 (CD-1型)	平成26年 日野	沖縄 830 す 25
24号車	消防団多機能	消防団多機能型車両	平成20年 いすゞ	沖縄 831 て 119
普及啓発車		普及啓発車 (一括交付金)	平成25年 日産	沖縄 400 つ 3676

消 防 署				
車両番号	無線呼出名称	用 途	年式及び車名	登録番号
救急5号車	沖縄救急	高規格救急車	平成29年 トヨタ	沖縄 830 さ 1709
救急2号車	沖縄救急2	高規格救急車	平成22年 トヨタ	沖縄 831 は 119
救急4号車	沖縄救急3	高規格救急車	平成19年 日産	沖縄 831 ち 119
6号車	沖縄指揮	指揮車	平成25年 日産	沖縄 800 す 5039
7号車	沖縄搬送	人員搬送車	平成24年 日産	沖縄 800 す 4263
8号車	沖縄資機材	資機材搬送車	平成24年 いすゞ	沖縄 800 す 4280
9号車	沖縄積載	積載車	平成12年 トヨタ	沖縄 800 さ 3509
12号車	沖縄救助	救助工作車	平成26年 日野	沖縄 831 る 119
13号車	沖縄はしご	はしご付消防自動車	平成21年 日産 <small>ディゼル</small>	沖縄 800 は 1011
18号車	沖縄ポンプ	水槽付ポンプ車 (II型)	平成26年 日野	沖縄 830 さ 1412
19号車	沖縄タンク	小型動力ポンプ付水槽車 (I型)	平成28年 いすゞ	沖縄 800 は 1569
22号車	沖縄ポンプ2	水槽付ポンプ車 (II型)	平成16年 いすゞ	沖縄 800 は 578
28号車	沖縄機動	機動連絡車	平成26年 トヨタ	沖縄 800 す 5813

山 内 出 張 所				
車両番号	無線呼出名称	用 途	年式及び車名	登録番号
救急1号車	山内救急	高規格救急車	平成25年 トヨタ	沖縄 831 み 119
15号車	山内ポンプ	水槽付ポンプ車 (II型)	平成29年 日野	沖縄 830 せ 1703
21号車	山内連絡	広報車	平成27年 日産	沖縄 800 す 6677
23号車	山内タンク	小型動力ポンプ付水槽車 (I型)	平成25年 いすゞ	沖縄 800 は 1318

泡 瀬 出 張 所				
車両番号	無線呼出名称	用 途	年式及び車名	登録番号
救急3号車	泡瀬救急	高規格救急車	平成25年 トヨタ	沖縄 831 め 119
10号車	泡瀬連絡	電源照明車	平成14年 三菱	沖縄 800 さ 6772
11号車	泡瀬水難	水難救助支援車	平成31年 いすゞ	沖縄 830 す 3103
16号車	泡瀬ポンプ	水槽付ポンプ車 (II型)	平成31年 日野	沖縄 830 せ 1903
17号車	泡瀬タンク	小型動力ポンプ付水槽車 (I型)	平成18年 いすゞ	沖縄 800 は 741
救助艇		水難救助艇	平成29年 ZODIAC	第 296 - 26462
救助艇		水上バイク	平成25年 B R P	第 296 - 25301
トレーラー		救助艇トレーラー	平成29年 L O F T	沖縄 800 る 256
トレーラー		水上バイクトレーラー	平成25年 L O F T	沖縄 800 る 176

## 特殊機械器具等保有状況

平成31年4月1日現在

用途	器具名	規格及びメーカー名	数
救助用具	可搬ウインチ	テイセン TIRFOR (TU-16) チルホール	3
	滑車	12mm用 プーリー	25
	金属性カギ付梯子	関東梯子	1
	チタン製カギ付梯子	関東梯子	6
	ワイヤー梯子	8.4m、10m	2
	3連梯子	関東梯子	8
	エアー式救助マット	TS式、藤倉航装	1
	安全ベルト、救助用縛帯	藤井ツヨロン ピタゴール	15
	マット型空気ジャッキ	マイティバック・調整器・減圧器・ホース	11
	レスキュープラットホーム	ルーカス	1
	都市型ロープレスキュー	CMC救助資機材	一式
	レスキューショット		1
マンホール救助器具	トライポット	1	
呼吸保護用具	空気呼吸器	ライフゼム、K5型、K2P型、ドレーゲル	40
破壊用具	エンジンカッター	パートナーK12 (スウェーデン) K650・ハスクバーナー	6
	チェーンソー	ハクスバーナーHV346XP・RYOBI・カッターエッジチェソー	5
	万能斧	米国製	10
	削岩機	日本電動ハンマー・HILTI製	2
	ワイヤー	重機用掛け縄	10
	ディスクグライダー	日立PDA、100B型	1
	エアーツールセット	日本エアーツール社・タイガーエアーソー	1
	油圧スプレッター	ホルマトロ社	1
	鉄筋カッター	DPC-16	1
	ガス溶断器 (酸素切断機)	OZ	1
	電動油圧式破壊器具	ルーカス (カッター、スプレッター、ラムシリンダー)	6
	電動式油圧ペダルカッター	オグラ	1
測定器具	ガス測定器	新コスモスXA-4400	4
	マルチ探知機	HILTI PS38	1
	マルチガス検知器	理研計器株式会社 (GX-2000) ・コスモス (XP-302-MA)	4
保護用具	耐熱服	倉本産業株式会社	10
	防塵メガネ	SP-17F	複数
	耐電手袋	井上工業、YS-101	8
	耐電ズボン	YS-122	10
潜水器具	レギュレーター	マレス19、アクアラング4 (泡23)	23
	救命浮環	大・小 (署8山2泡25)	35
	BCジャケット	Sプロ2、アクアラング17 (泡19)	19
その他	投光器	携帯投光機、バルーン型等 (署7山3泡2)	12
	携帯用発電機	EU26i 16i 9i EF6000ET (署12山2泡2)	16
	携帯無線機	卓上3、可搬3、携帯17 (署活37)	60
	発煙筒	ロスコスモークマシン (署1)	1
	携帯用拡声器	ノボル電気、TRM119S (署6山1泡4)	11
	簡易画探索機	プロカム2 TEISEN	1



## 特殊機械器具等保有状況（救急資器材）

平成31年4月1日現在

用途	資器材名	数
観察用資器材	血圧計	25
	聴診器	5
	血中酸素飽和度測定器	10
	患者監視装置（心電図計等）	5
呼吸・循環管理用資器材	呼吸管理用資器材（人工呼吸器、吸引器等）	10
	自動心臓マッサージ器	5
	半自動式除細動器（AED）	5
	高度気道確保用資器材（気管挿管チューブ等）	40
	輸液・薬剤セット一式	15
外傷用資器材	創傷等保護用資器材	複数
	全脊柱固定用器具	5
訓練用資器材	高度救急処置シミュレーター	3
	心肺蘇生法訓練用人形（成人・小児・乳児）	29
	AEDトレーナー	10
消毒用資器材	ガス滅菌器（EOG滅菌器）	3
	オゾンカル滅菌装置	3
	紫外線滅菌ロッカー	3

## 特殊機械器具等保有状況（BC資機材）

平成31年4月1日現在

	資器材名	規格及びメーカー名	数
BC対応 救助用具材	化学防護服	PS-590 重松製作所（A 10, B 10）	20
	簡易型防護服		30
	携帯型生物剤検知装置	帝国繊維株式会社	1
	携帯型生物剤捕集器	BioCapture BT-550山田洋行	1
	検知管式有毒ガス検知器	ドレーゲル・セイフティジャパン株式会社	1
	携帯型化学剤検知器（JCAD）	株式会社 山田洋行	1
	ランコ除染用テント	ランコARZ 帝国繊維株式会社	1
	除染用温水器	CBX-430（TM）帝国繊維株式会社	1
	水中ポンプ	S-500 寺田ポンプ製作所	1
	防毒マスク	帝国繊維株式会社・面体6800DIN	複数

# 消 防 水 利 現 勢

平成31年4月1日現在

No.	種別 自治会	消火栓	防火水槽	No.	種別 自治会	消火栓	防火水槽
2	登川	40	3	21	照屋	36	1
3	知花	47	2	22	安慶田	24	0
4	松本	41	2	23	越来	27	1
5	明道	9	1	24	城前町	9	0
6	東	38	0	25	住吉	8	0
7	美里	55	2	26	嘉間良	9	0
8	吉原	8	0	27	八重島	7	0
9	宮里	27	0	28	室川	12	1
10	高原	42	0	29	センター	27	2
11	大里	14	1	30	胡屋	50	3
12	東桃原	7	0	31	中の町	37	1
13	泡瀬	63	0	32	諸見里	33	1
14	泡瀬第一	10	1	33	園田	17	0
15	泡瀬第二	6	0	34	久保田	13	0
16	泡瀬第三	12	0	35	山里	21	0
17	海邦町	25	0	36	山内	46	2
18	古謝	23	1	37	南桃原	24	0
19	比屋根	32	1	計		938	29

区 分	消火栓	防火水槽	無限水利	
			プール	海・河川
	938	29	8	5(25)
計	1000			

※ 平成18年度から無限水利を追加する。  
海・河川等は280mで消火栓5（25）基に相当する。

# 敬防關係



## 消防職員の訓練実施状況

(平成30年)

訓練の内容	回数	人員	時間 (分)	備 考
体 力 錬 成 訓 練	0	0	0	基礎体力の錬成、持久走訓練等
ロ ー プ 基 本 ・ 応 用 訓 練	13	66	1,035	ロープ結索訓練、ロープ応用訓練
資 器 材 取 扱 訓 練	106	589	7,375	消防車両及び救急車に積載された各種機材器具の取り扱い訓練
陸 上 活 動 訓 練	421	2,810	41,178	沖縄県救助技術指導会向け訓練 九州地区救助技術指導会向け訓練 全国救助技術大会向け訓練
水 上 活 動 訓 練	53	345	7,470	無減圧潜水の範囲での搜索訓練 救助艇・水上バイクの構造、取扱 操縦訓練
火 災 活 動 訓 練	319	2,135	30,848	火災救助活動 検索救助活動 ポンプ応用訓練
特 殊 災 害 訓 練	12	73	1,440	N B C 災害活動訓練
救 急 活 動 訓 練	362	2,577	29,060	救急勉強会 救急症例検討会 救急実動訓練
車 両 操 作 取 扱 訓 練	50	175	3,145	大型消防車両の走行訓練 狭隘地域の走行訓練
総 合 演 習 ・ 訓 練	9	81	810	沖縄市防災訓練、中部消防総合演習 沖縄県消防演習
そ の 他	351	1,677	28,373	訓練礼式、新職員訓練、消防団訓練 各種座学、その他
計	1,696	10,528	150,734	

## 救 助 隊 の 設 置 状 況

平成30年

救 助 隊 数	救 助 隊 員 数				救助隊の搭乗する車両・舟艇
消防救助隊 (兼任) 15名	消防署	山内出張所	泡瀬出張所	通信指令係	救助工作車 1台
	第1小隊 5名	第1小隊	第1小隊 5名	第1通信	はしご車 1台
水難救助隊 (兼任) 15名	第2小隊 5名	第2小隊	第2小隊 5名	第2通信	水難救助支援車 1台
	第3小隊 5名	第3小隊	第3小隊 5名	第3通信	水難救助艇 1艇
					水上バイク 1艇

## 事 故 種 別 救 助 出 動 件 数 及 び 活 動 件 数

平成30年

区 分 \ 種 別	火 災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機 械 に よる事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他 の事故	計
	建 物	建物以外									
出 動 件 数	2		21	2		3	8			23	59
活 動 件 数	2		18	2		3	6			21	52

※火災とは消防機関が何らかの救助活動を行った火災をいうものであること。したがって出動と活動の件数は同等である。

## 事 故 種 別 救 助 人 員 及 び 搬 送 車 両 等 の 内 訳

平成30年

区 分 \ 種 別	火 災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機 械 に よる事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他 の事故	計
	建 物	建物以外									
救 助 人 員	5		20	2		3	7			17	54
搬 送 車 両 等 の 内 訳	救 急 車		21	1		2	3			9	41
	消 防 機 関 の 車 両										0
	消 防 機 関 以 外 の 車 両										0
	ヘ リ コ プ タ ー										0
	計	5	0	21	1	0	2	3	0	0	9

## 消 防 機 関 の 出 動 状 況

(出動回数)

平成30年

種 別 区 分	火 災			救急 出動	救助 出動	風水害 等の 災害	演 習 訓 練 等	警 防 調 査	火 災 調 査	特 別 警 戒	誤 報 等	そ の 他	計
	建物火災	建物以外	その他										
出 動 回 数	21	4	15	7,818	59	176	1,696	5	40	5	9	672	10,520
出 動 人 員	401	77	238	24,555	364	683	10,528	13	120	99	29	2,835	39,942
出 動 車 両 台 数	143	34	96	7,818	103	178	1,152	5	40	19	9	926	10,523

## 過 去 5 年 間 の 出 動 件 数 及 び 出 動 人 員

区 分	年				
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
出 動 件 数	8,302	7,918	8,625	8,956	10,520
出 動 人 員	28,415	26,614	28,881	29,696	39,942

# 予 防 関 係

『 ひとつずつ  
いいね！で確認  
火の用心 』

2019年度 全国統一防火標語

『 無事故への  
構え一分の  
隙も無く 』

危険物安全週間推進標語

# 防 火 対 象 物

多数の人が利用する建築物は、火災が発生した場合人命への危険が増大します。

消防法では全般的な危険性を基準上考慮するため、防火対象物として用途による区分が設けられています。

それぞれの用途区分により基準を定め、防火管理者の選任や消防用設備等の設置・維持管理が義務付けられています。

## 防 火 対 象 物 件 数

防 火 対 象 物 区 分			数	防 火 対 象 物 区 分			数
1項	イ	劇 場 ・ 映 画 館 観 覧 場	12	9項	イ	蒸 気 ・ 熱 気 浴 場	4
	ロ	公 会 堂 集 会 場	45		ロ	公 衆 浴 場	1
2項	イ	キ ャ バ レ ー ・ ナ イ ト ク ラ ブ	18	10項		車 両 の 停 車 場 ・ 船 舶 若 し く は 航 空 機 の 発 着 場	0
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	10	11項		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	20
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 を 営 む 店 舗	0	12項	イ	工 場 ・ 作 業 場	148
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	5		ロ	映 画 ス タ ジ オ テ レ ビ ス タ ジ オ	0
3項	イ	待 合 ・ 料 理 店 そ の 他 類 す る も の	0	13項	イ	車 庫 ・ 駐 車 場	17
	ロ	飲 食 店	111		ロ	飛 行 機 格 納 庫	0
4項		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト そ の 他 の 物 品 販 売 店 舗	185	14項		倉 庫	69
5項	イ	旅 館 ・ ホ テ ル 宿 泊 所	157	15項		前 各 項 に 該 当 し な い 事 業 所	289
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 共 同 住 宅	1,693	16項	イ	特 定 用 途 部 分 が 存 在 す る 複 合 用 途 防 火 対 象 物	552
6項	イ	病 院 ・ 診 療 所 助 産 所	85		ロ	上 記 以 外 の 複 合 用 途 防 火 対 象 物	115
	ロ	福 祉 及 び 厚 生 施 設	62	16項の2		地 下 街	0
	ハ	老 人 デ ィ サ ー ビ ス 等 保 育 園	219	17項		重 要 文 化 財 等	0
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校	28	18項		延 長 50 m 以 上 の ア ー ケ ー ド	0
7項		学 各 種 学 校 校 等	145	19項		市 町 村 長 の 指 定 す る 山 林	0
8項		図 書 館 美 術 館	2	20項		総 務 省 令 で 定 め る 舟 車 ( 省 令 6 条 )	0
計							3,992



## 消防用設備等の審査と検査

建築物に設置が義務づけられている消防用設備等については、工事着手前にその計画が消防法令の技術基準に適合しているかどうかを審査し、工事が完成したとき計画どおり設置されているかについて検査を行います。

### 月別消防用設備等検査状況

平成30年度

月別 設備区分	H30										H31			計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
消火器	7	11	13	17	13	14	9	4	8	12	22	18	148	
屋内消火栓設備	1	1			2				1		1	1	7	
スプリンクラー設備			3	2	2	2	2	1	1		2	4	19	
自動火災報知設備	9	18	19	20	16	19	11	8	8	12	23	24	187	
非常警報器具及び設備	1	2	1	3	2	2		1			9	3	24	
水噴霧消火設備等				3	2	2				1	1		9	
避難器具	4	1	1	3	3	4	2	1		4	3	5	31	
誘導灯及び誘導標識	2	13	14	10	10	9	7	4	7	5	18	18	117	
連結送水管	2		2	4	3	4	2				2	2	21	
屋外消火栓設備													0	
火災通報装置	6	1			1	2	1	1	1		3	8	24	
非常コンセント設備		1		1							1		3	
消防用水													0	
計	32	48	53	63	54	58	34	20	26	34	85	83	590	

### 過去3年間の消防用設備等検査状況

年度別	平成28年度	平成29年度	平成30年度
検査件数	444	493	590

# 用途別建築同意件数調

平成30年度

用途	月 別												計
	H30 4	5	6	7	8	9	10	11	12	H31 1	2	3	
専用住宅	2	4	3	1	3	5	2	1	1	2	3	2	29
併用住宅	2	2	1	1		3	2	3	1	4	4	3	26
劇場等			1										1
集会場等										1			1
遊技場等													0
料理店等													0
飲食店等				1			1		1				3
店舗等		2	1	2		1		1		1		1	9
ホテル等		1			2		1	1		1			6
共同住宅等	4	9	4	6	8	2	7	4	3	8	1	3	59
病院等				1	2						1		4
福祉施設等	1	2	1	4	1	1	3				3	1	17
幼稚園等													0
学校等		1					2				2		5
図書館等													0
浴場等													0
神社等													0
工場等			1	1	1	1		1					5
駐車場等			1	1									2
倉庫			1					2		1			4
特定複合用途建物	1	1	1	3	2		2		1	1		2	14
その他の複合用途建物			1		2			1	3			1	8
エレベーター等													0
その他	2	1	4	3	1		1	1	2	5	2	1	23
計	12	23	20	24	22	13	21	15	12	24	16	14	216



消防用設備等設置状況		設備名	自動火災報知設備	スプリンクラー設備	屋内消火栓設備	水噴霧消火設備等	非常警報設備等	避難器具	誘導灯及び誘導標識	動力消防ポンプ設備	連結送水管
防火対象物の区分		総数	設置	設置	設置	設置	設置	設置	設置	設置	設置
10	車両の停車場	1	1								
11	神社・寺院教会	36	12			1	11	1	11		
12	イ 工場・作業場	131	69		19	8	10		22		3
	ロ 映画スタジオ テレビスタジオ	0									
13	イ 車庫・駐車場	14	7			5			2		
	ロ 飛行機格納庫	0									
14	倉庫	53	32		4		1		16		
15	前各項目に該当しない事業所	370	124	1	22	16	69	10	125		3
16	イ 特定用途が存する複合用途防火対象物	994	327	53	28	19	115	101	332		19
	ロ 上記以外の複合用途防火対象物	126	43		2	1	23	36	21		
16の2	地下街	0									
17	重要文化財等	0									
18	延長50m以上のアーケード	0									
19	市町村長の指定する山林	0									
20	総務省令で定める舟車(省令50条)	0									
計		6,323	2,257	147	299	141	779	1,104	1,436	0	160

# 自治会別建築同意件数調

平成30年度

自治会別	月別												計
	H30 4	5	6	7	8	9	10	11	12	H31 1	2	3	
南 桃 原		1	2		1				1			1	6
山 内			1	1		1	1				1		5
山 里	1	1			1	1			2		2		8
久 保 田	1				1						2		4
諸 見 里	1		1				1						3
園 田				1	1		1						3
胡 屋							1	1	1		1		4
中 の 町	3	1	1					2			1	1	9
セ ン タ ー		1									1	1	3
八 重 島													0
嘉 間 良													0
住 吉	1							1		1	1	1	5
室 川	1			2	1				1	2			7
安 慶 田		1	1					1					3
照 屋		2	2	1						1		2	8
城 前					1		1			1	1		4
越 来									1	2			3
宮 里		1		1					1				3
吉 原		1			2						1		4
美 里		1		2	1	2	1	1		1		2	11
東					1			1					2
松 本			1							1	1		3
知 花	2	2	2	5	4	4	1	1	1				22
明 道					1					1			2
登 川		2	1		1	1				2	1		8
池 原	1							1	1	1		2	7
高 原			3	3					1	1	3	2	13
大 里				1					1			2	4
桃 原		2			1			3	2		1		9
泡 瀬		2		2	2	2		1	1	3	1	2	16
古 謝		1	1		1	2	1			3			9
比 屋 根	1	1	2	1	3				2	4	1		15
与 儀		1		1		1	3	4					10
海 邦			1	1						1			3
そ の 他													0
基 地 内													0
計	12	21	19	22	23	14	19	16	12	25	19	14	216

## 中高層建築物（4階以上）の現況表

平成31年4月1日現在

防火対象物（階）			4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
1項	イ	劇場等	1											1
	ロ	公会堂等	1	1										2
2項	イ	キャバレー・カフェ ナイトクラブ	1	4										5
	ロ	遊技場又は ダンスホール												0
	ハ	性風俗関連特殊営業 を営む店舗等												0
	ニ	カラオケボックス等		1										1
3項	イ	待合・料理店等												0
	ロ	飲食店	3	1	1									5
4項		百貨店・マーケット ・物品販売店舗等	2		1									3
5項	イ	ホテル・旅館・宿泊所	8	6	3	2	2	1	1				1	24
	ロ	共同住宅	587	82	52	32	24	14	30	7	2	4	10	844
6項	イ	病院等	6	7	2		1							16
	ロ	老人ホーム等	8	1	1									10
	ハ	デイサービス・ 保育園等	5	1										6
	ニ	幼稚園・ 幼稚園・ 特別支援学校												0
7項		学校等	16	2	1									19
8項		図書館等	1											1
9項	イ	サウナ浴場等												0
	ロ	公衆浴場等												0
10項		停車場等												0
11項		神社等	1											1
12項	イ	工場等	1		1	1	1							4
	ロ	映画スタジオ等												0
13項	イ	駐車場												0
	ロ	格納庫等												0
14項		倉庫等	1											1
15項		事業所等	13	2	3		1							19
16項	イ	特定複合建物	83	22	17	10	3	3	2					140
	ロ	その他の建物	33	3	5									41
17項		文化財												0
計			771	133	87	45	32	18	33	7	2	4	11	1,143

## 防 火 管 理 者 制 度

多数の人（特定防火対象物30人以上又は非特定防火対象物50人以上）が出入し、勤務し、又は住居する建築物には、防火管理者をおいて消防計画の作成、消火、通報、避難訓練の実施、消防設備等の点検整備など防火についての業務の実施が義務づけられています。

又、雑居ビルや地下街で管理責任が分かれている場合は、統括防火管理の方式を取る事になっています。

防火管理者は、消防機関の行う防火管理者講習会を受講する事によって資格が付与されます。

### 防火管理者選任状況

区 分	防火対象物	防火管理者届出済	消防計画届出済
管理権限が単一	2,782	705	674
管理権限が2以上	234	16	16

### 防火管理者資格取得講習会実施状況

回 数	実 施 期 間	受講申込者	講習修了者
1 回	昭和 52 年 8 月 18 日 ~ 19 日	52	44
2 回	昭和 53 年 12 月 5 日 ~ 6 日	16	13
3 回	昭和 54 年 11 月 12 日 ~ 13 日	29	26
4 回	昭和 55 年 11 月 18 日 ~ 19 日	33	28
5 回	昭和 56 年 11 月 12 日 ~ 13 日	43	34
6 回	昭和 57 年 11 月 9 日 ~ 10 日	53	44
7 回	昭和 58 年 11 月 8 日 ~ 9 日	67	50
8 回	昭和 59 年 7 月 10 日 ~ 11 日	41	36
9 回	昭和 60 年 7 月 25 日 ~ 26 日	55	48
10 回	昭和 61 年 7 月 30 日 ~ 31 日	83	41
11 回	昭和 62 年 7 月 14 日 ~ 15 日	43	37
12 回	昭和 63 年 7 月 21 日 ~ 22 日	46	39
13 回	平成 元 年 7 月 27 日 ~ 28 日	30	28
14 回	平成 2 年 7 月 26 日 ~ 27 日	47	43
15 回	平成 3 年 7 月 25 日 ~ 26 日	38	29
16 回	平成 4 年 7 月 30 日 ~ 31 日	35	31
17 回	平成 5 年 7 月 29 日 ~ 30 日	38	36
18 回	平成 6 年 7 月 28 日 ~ 29 日	31	31
19 回	平成 7 年 8 月 3 日 ~ 4 日	31	30
20 回	平成 8 年 7 月 25 日 ~ 26 日	40	35
21 回	平成 9 年 7 月 30 日 ~ 31 日	38	38
22 回	平成 10 年 7 月 30 日 ~ 31 日	38	38
23 回	平成 11 年 2 月 4 日 ~ 5 日	36	36
24 回	平成 11 年 8 月 12 日 ~ 13 日	31	31
25 回	平成 12 年 2 月 9 日 ~ 10 日	30	28
26 回	平成 12 年 8 月 24 日 ~ 25 日	33	31
27 回	平成 12 年 8 月 8 日 ~ 9 日	35	28
28 回	平成 13 年 7 月 26 日 ~ 27 日	42	41
29 回	平成 14 年 2 月 7 日 ~ 8 日	48	45
30 回	平成 14 年 7 月 25 日 ~ 26 日	35	35
31 回	平成 15 年 2 月 6 日 ~ 7 日	48	45
32 回	平成 15 年 7 月 26 日 ~ 27 日	41	37
計		1,306	1,136

平成16年以降は（一財）日本防火防災協会の主催する防火管理講習が実施されています。

## 避難訓練実施状況

平成30年

業態 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
保育園	5	14	2	1	1	7	9	8	10	18	9	6	90
幼稚園	5				1		4		2		5		17
小学校	1									1			2
中学校													0
学校				1	4	1	1	1	1	5	14		28
ホテル	1		1	1		1	1					1	6
集会場	1		3						2				6
老人ホーム	3	5	16	2	2	5	6	8	7	7		2	63
福祉施設	4	3	11	3	7	1	2	14	7	5	5	6	68
物産販売所	2	9	2	10	2	8	3	3	7	4	5		55
遊技場		2		2	2	2			4	1	5		18
診療所													0
事業所	2	4	2	5		2	4	2		4	6	4	35
共同住宅													0
計	24	37	37	25	19	27	30	36	40	45	49	19	388

## 避難訓練参加人数状況

平成30年

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
参加人数	1,219	1,519	1,209	1,599	2,375	1,012	472	1,246	1,838	3,692	9,712	1,128	27,021



# 危険物規制

消防法に定める危険物は、引火性・発火性のある物品で、いずれも火災になりやすく、しかも消火が困難な物品です。

危険物による災害を防止するため、一定量以上の危険物を貯蔵し又は取扱う場所は、危険物施設として、許可を受けなければならないこととして規制されています。

## 危険物製造所等の許可施設数

平成30年度

種別 区分	製造所	貯蔵所								取扱所				合計
		屋内	屋内タンク	屋外タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	小計	給油所		一般	小計	
										営業用	自家用			
施設数	0	5	4	42	26	0	118	3	198	33	13	34	80	278

## 危険物製造所等の承認届出状況

平成30年度

種別	危険物製造所等の変更届	危険物製造所仮使用承認	危険物仮取扱・仮貯蔵申請	危険物製造所等の廃止届	危険物製造所の変更等	予防規程変更認可申請	危険物保安監督者選任届出	タンク検査少量危険物	危険物休止届出書	危険物譲渡引渡届	計
件数	24	2	0	7	18	6	13	14	1	4	89

# 危険物製造所等の許可検査状況

平成30年度

製造所等区分		月 別		30年								31年			計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
屋内タンク貯蔵所	設 置														0
	変 更														0
	完 成														0
屋外タンク貯蔵所	設 置														0
	変 更						1								1
	完 成						1								1
屋 内 貯 蔵 所	設 置														0
	変 更														0
	完 成														0
地下タンク貯蔵所	設 置														0
	変 更														0
	完 成														0
移動タンク貯蔵所	設 置				1										1
	変 更			1		1					2				4
	完 成	1				1	1			1	1	1			6
給油取扱所	設 置														0
	変 更				1										1
	完 成	1					1								2
一 般 取 扱 所	設 置														0
	変 更	1													1
	完 成	1	1												2
屋 外 貯 蔵 所	設 置														0
	変 更														0
	完 成														0
計		4	1	1	2	4	2	0	1	3	1	0	0		19

## 火災予防条例による規制

火を使用する設備の位置・構造や少量危険物・指定可燃物の取扱いの基準をはじめ、火災予防上必要な事項を定めた火災予防条例による規制も火災の未然防止に役立っています。

### 火災予防条例に係る各種届出件数状況

		30年度	29年度
条例 第42条	防火対象物使用開始	161	112
条例 第43条 (2, 3)	ボイラー設置	2	3
条例 第43条 (9)	変電設備設置届	5	5
条例 第43条 (10)	燃料電池設備設置届	0	0
条例 第43条 (10)	発電設備設置届	2	7
条例 第43条 (11)	蓄電池設備設置届	5	2
条例 第43条 (12)	ネオン管灯設備設置届	0	0
条例 第43条 (13)	水素ガスを充填する気球の設置届	0	0
条例 第44条 (1)	火災とまぎらわしい行為の届	19	15
条例 第44条 (2)	煙火打上げ・仕掛け届	12	2
条例 第44条 (3)	催物開催届	14	12
条例 第44条 (4)	水道の断水・減水届	0	0
条例 第44条 (5)	道路工事届	101	114
条例 第45条	少量危険物貯蔵又は取扱いの届出	1	5

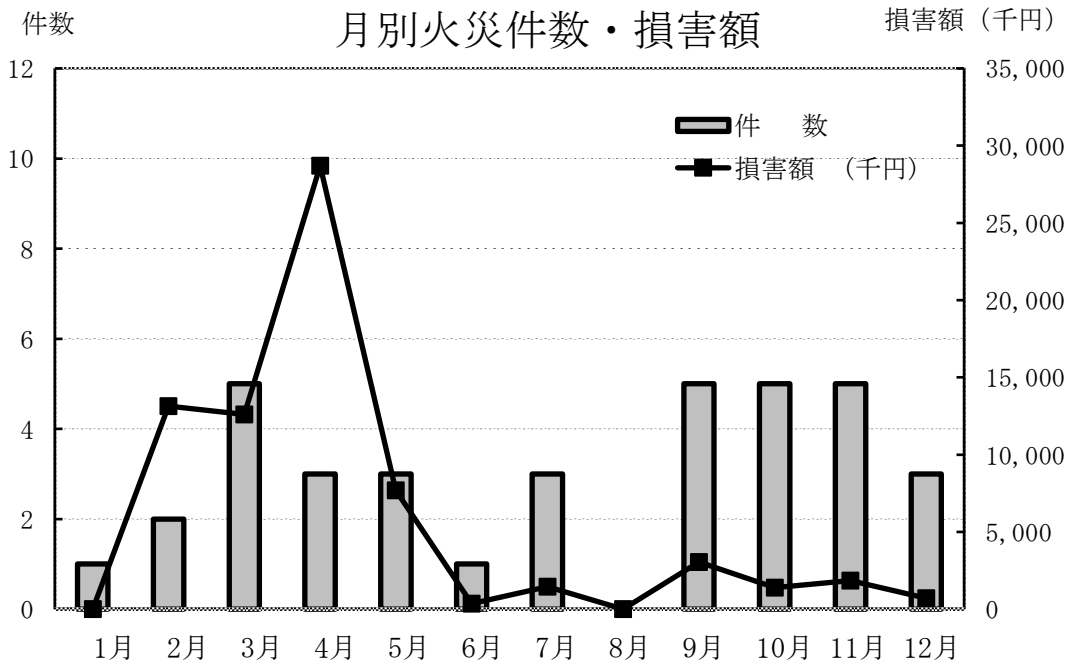
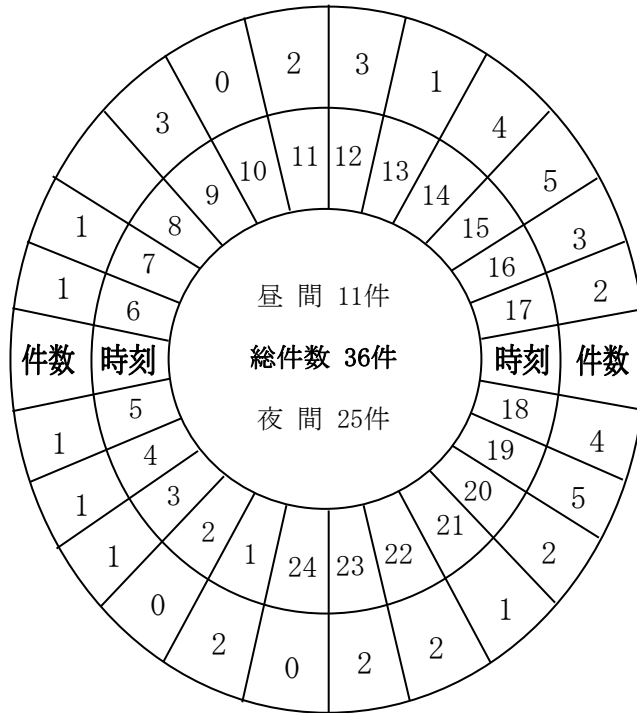
## 火 災 概 況

区 分	平 成 30 年	平 成 29 年
火 災 発 生 件 数	36 件	47 件
火 災 損 害 見 積 額	70,912,000 円	84,187,000 円
建 物 焼 損 面 積	383 m <sup>2</sup>	909 m <sup>2</sup>
林 野 焼 損 面 積	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
焼 損 棟 数	18 棟	34 棟
り 災 世 帯 数	10 世帯	15 世帯
り 災 人 員	24 人	41 人
死 者	1 人	3 人
負 傷 者	7 人	3 人
1 日 平 均 火 災 発 生 件 数	0.099 件	0.129 件
1 日 平 均 損 害 見 積 額	194,279 円	230,649 円
1 日 平 均 焼 損 棟 数	0.05 棟	0.09 棟
1 日 平 均 焼 損 面 積 ( 建 物 )	1.05 m <sup>2</sup>	2.49 m <sup>2</sup>
火 災 1 件 当 り の 損 害 見 積 額	1,969,778 円	1,791,213 円
り 災 世 帯 1 世 帯 当 り の 損 害 額	7,091,200 円	5,612,467 円
建 物 火 災 1 件 当 り の 焼 損 面 積	21.28 m <sup>2</sup>	26.73 m <sup>2</sup>
沖 縄 市 の 人 口	142,211 人	141,678 人
沖 縄 市 の 世 帯 数	61,971 世帯	59,975 世帯

平成30年の人口及び世帯数は12月1日時点のものとなっています。



# 時間別火災発生状況



月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
件数	1	2	5	3	3	1	3	0	5	5	5	3	36
損害額 (千円)	0	13,130	12,600	28,695	7,700	348	1,450	0	3,039	1,400	1,850	700	70,912
焼損面積 (m <sup>2</sup> )	0	43	63	135	62	2	2	0	62	12	1	1	383

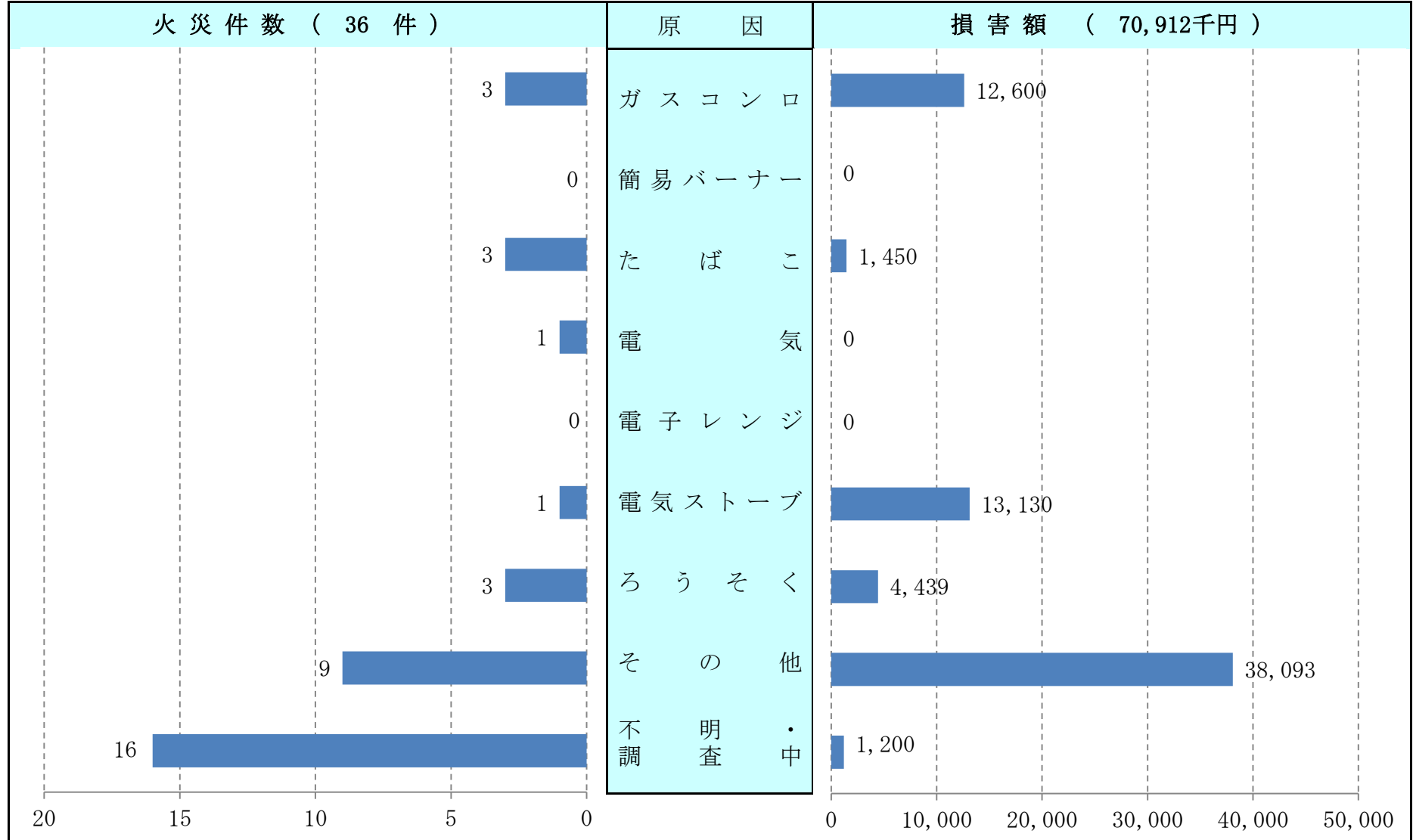
# 月・曜日別火災件数及び損害額

平成30年

月 曜日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	損害額 (千円)
日	0	0	1	1	0	0	2	0	2	0	0	1	7	3,789
月	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1	2	1	7	13,980
火	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1	4	700
水	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	12,600
木	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	5	7,490
金	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	2	0	6	1,048
土	0	0	1	1	1	0	0	0	1	2	0	0	6	31,305
計	1	2	5	3	3	1	3	0	5	5	5	3	36	
損害額 (千円)	0	13,130	12,600	28,695	7,700	348	1,450	0	3,039	1,400	1,850	700		70,912

# 平成30年中の火災原因別発生件数と損害額

建物火災の件数及び損害額となっています





# 自治会別火災発生件数及び損害額

平成30年（1月～12月）

自治会別	件数	損害額（千円）	自治会別	件数	損害額（千円）
越 来	1	0	宮 里	0	0
城 前	1	28,695	吉 原	1	0
照 屋	0	0	松 本	1	0
安 慶 田	0	0	明 道	1	13,130
室 川	1	0	知 花	0	0
住 吉	1	0	登 川	4	3,039
嘉 間 良	0	0	池 原	2	0
八 重 島	0	0	古 謝	1	0
セ ン タ ー	0	0	東 桃 原	1	0
胡 屋	4	13,300	大 里	0	0
中 の 町	2	0	高 原	0	0
園 田	1	0	比 屋 根	1	0
諸 見 里	3	1,748	与 儀	1	0
山 里	0	0	泡 瀬	2	7,700
山 内	0	0	泡 瀬 第 一	0	0
久 保 田	0	0	泡 瀬 第 二	0	0
南 桃 原	1	1,450	泡 瀬 第 三	0	0
美 里	1	0	海 邦	2	0
東	0	0	そ の 他	3	1,850
			計	36	70,912

過去5年間の火災発生状況

区分 年別	火災件数	火災種別				焼損程度			り り 災 災 世 人 帯 員	死傷者	焼損面積 (㎡)		損害見積(千円)						
		建物	林野	車両	その他	全焼	半焼	部分焼			死者	負傷者	建物	林野	計	建物 内容物 含む	林野	車両	その他
26	55	33	2	6	14	4	1	1	24	83	0	9	450	180	48,310	47,895	0	410	5
27	48	27	4	5	12	5	2	6	18	42	1	2	569	0	63,849	63,539	0	310	0
28	46	29	0	9	8	2	0	5	25	63	0	3	176	0	12,034	11,664	0	370	0
29	47	32	0	3	12	0	3	6	15	41	3	3	909	0	84,187	81,237	0	2,950	0
30	36	20	0	4	12	2	3	9	10	24	1	7	383	0	70,912	69,712	0	1,200	0

## 過去10年間の建物火災用途別発生状況

建物火災の件数となっています

用途 \ 年別	年別										計
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
専用住宅	13	9	9	5	7	14	10	11	5	8	91
共同住宅	5	11	10	9	13	9	6	12	11	2	88
併用住宅		2					1		1	3	7
劇場	1										1
キャバレー等					2	3					5
遊技場			1								1
料理店											0
飲食店			1	6	2	4	4	2	2	3	24
店舗	1	3	3		1		1			1	10
旅館・宿泊所				2				1		1	4
病院											0
福祉施設			1					1			2
幼稚園											0
学校						1					1
公衆浴場											0
寺院・教会											0
工場・作業所		1	1						10	1	13
倉庫	1						2	1	1	1	6
事務所							1				1
その他		1	3		2	2	2	1	2		13
計	21	27	29	22	27	33	27	29	32	20	267

## 過去10年間の火災状況

年 別	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
件 数	46	47	69	41	53	55	48	46	47	36
損害額 (千円)	15,532	31,399	66,966	41,936	37,893	48,310	63,849	12,034	84,187	70,912
焼損面積 (㎡)	471	526	1,660	375	494	450	569	176	909	383

## 防火防災ビデオ・DVD保有一覧

大人向けビデオ	子供向けビデオ
1. 奥カマは防災じょうず (18分)	1. 悟空の消防隊 (11分)
2. ホテル旅館・ビルの防災対策 (15分)	2. しましまとらじろうの消防隊 (10分)
3. 心の用心・火の用心・猛煙からの脱出 (20分)	3. 忍たま乱太郎の地震用心・火の用心 (10分)
4. 防火管理者・責任と誇り (20分)	4. マーベルの火の用心 (11分)
5. 防火の決め手・心の用心・火の用心 (20分)	5. 忍たま乱太郎の消防隊 (11分)
6. ドラマでわかる初期対応 (26分)	6. レスキューQ太のかつやく (15分)
7. 阪神大震災・被災者の心 (20分)	7. 消防のおじさん (20分)
8. 家族でガッテン・住宅防火 (25分)	8. ケちゃん消防家族 (18分)
9. 住宅火災あなたの家は大丈夫 (20分)	9. ちびまる子ちゃんの火の用心 (14分)
10. 住宅火災から学ぶ (25分)	10. ちびまる子ちゃんの地震を考える (13分)
11. 家族DE防火 (20分)	11. アサリ・タマちゃんの日用心 (11分)
12. うっかり家の人々 (20分)	12. むしむし村の防災訓練 (12分)
13. うっかり町の屋根の下 (25分)	13. あっ地震だ 津波は? (14分)
14. うっかり町は大騒ぎ (20分)	14. 孫悟空の火の用心 (12分)
15. 消防防災のフロンティア	15. やめて!ライターあそび (14分)
16. 火災から職場を守るには (17分)	16. マジカル・タの火あそびはあぶないよ (15分)
17. 大丈夫ですか? お宅の防火 (19分)	17. 丸太郎 地震には負けないぞ! (15分)
18. 火災の恐怖 (20分)	18. 火あそびは火事のもと (13分)
19. 住宅用火災警報器と消火器の重要性 (16分)	19. こぎつねの消防隊 (16分)
20. 津波・命を守る心構え (20分)	20. ぼくは小象の消防隊 (17分)
21. もし今、地震が起きたら (19分)	21. アニメ 火公物語 (18分)
22. まず逃げる! 高台へ! (22分)	22. ニャン太のお誕生日は火事さわぎ! (11分)
23. あなたの街を襲う大地震 (22分)	23. あさりちゃんの火の用心 (10分)
24. 雑居ビル火災から命を守る(消防計画) (18分)	24. カカモ親子の火の用心 (13分)
25. 雑居ビル火災から命を守る(日常点検) (21分)	25. 消防署の働きと役割 24時間休むことなく (17分)
26. 雑居ビル火災から命を守る(消火・避難訓練)	26. あさりちゃんと学ぶ 地震への備え (10分)
27. 防火管理者は巡回中!(スーパーマーケット編) (22分)	27. 地震への備えが命を守る (21分)
28. 防火管理者は巡回中!(ホテル編) (22分)	28. 生きる行動 生きる備え (22分)
29. 防火管理者は巡回中!(福祉施設編) (24分)	29. 地震・津波から生き延びる (16分)
30. 職場で取り組む防火管理 (15分)	30. 地震と津波を知ろう (16分)
31. 職場で取り組む地震対策 (19分)	31. 桃太郎の火あそびはやめよう! 火の用心 (10分)
32. 釜石の奇跡 第1巻(教員・教諭編) (77分)	<b>危険物関係ビデオ</b>
33. 釜石の奇跡 第2巻(小学生編) (45分)	1. 危険物の取扱者の責任 (20分)
34. 釜石の奇跡 第3巻(中学生編) (43分)	2. 危険物の安全管理 (20分)
35. 釜石の奇跡 第4巻(家庭教師編) (29分)	3. 危険物取扱者の責務 (20分)
36. 東日本大震災 宮城石巻地方沿岸部の記録 (30分)	4. 危険物読本タケローの一日 (20分)
37. 放火を防ぐ第一歩 (19分)	5. 危険物に挑む (18分)
38. 火災から命を守る8つのポイント (19分)	6. 危険物の安全な容器と運搬 (23分)
39. 相次ぐ高齢者住宅火災 (22分)	7. 給油取扱所の安全を築く (31分)
40. 災害時、ドライブはどうか生き残るか (28分)	8. ご注意・身近な危険物 (29分)
41. 地震や津波で死なないために (15分)	9. セルフスタンド
42. NHKスペシャル MEGAQUAKE 巨大地震 全四巻 (210分)	10. 危険物小さな油断も許さない! (20分)
43. NHKスペシャル 首都水没 (52分)	11. 危険物取扱者は事故ゼロを目指す (20分)
44. NHKスペシャル 深層崩壊が日本を襲う (47分)	<b>外国人向けビデオ</b>
45. NHKスペシャル 気候大異変 全2枚 (103分)	1. Ten Tips (25分)
46. 巨大津波の脅威 いつどこでまた (30分)	2. WATCH OUT FOR FIRE (27分)
47. 3.11岩手・大津波の記録 (168分)	
48. DVD東日本大震災の記録～3.11宮城～ (143分)	
49. DVDマムシさんと学ぶ! 高齢者住まいの防火塾(26分)	

## 防災研修センター利用者状況

(1) 月別、年齢層別、地域別利用状況

平成29年

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
市 内	園 児	0	0	78	0	15	3	112	3	167	43	320	194	935
	小中校	15	0	60	12	658	406	496	162	6	234	15	41	2,105
	高大人	10	24	175	221	76	53	242	111	142	87	118	73	1,332
	小 計	25	24	313	233	749	462	850	276	315	364	453	308	4,372
市 外		0	5	656	238	264	286	481	1,111	417	369	594	200	4,621
基地内		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県 外		0	0	0	0	2	26	0	6	4	20	7	42	107
合 計		25	29	969	471	1,015	774	1,331	1,393	736	753	1,054	550	9,100

平成30年

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
市 内	園 児	125	83	0	2	12	0	62	37	74	173	209	220	997
	小中校	15	80	25	167	772	354	354	155	138	52	146	37	2,295
	高大人	35	112	81	32	47	17	214	63	40	82	80	42	845
	小 計	175	275	106	201	831	371	630	255	252	307	435	299	4,137
市 外		110	255	303	85	83	39	273	478	237	324	132	168	2,487
基地内		0	0	0	0	1	0	0	0	30	0	0	0	31
県 外		4	21	0	0	1	0	0	1	3	12	0	0	42
合 計		289	551	409	286	916	410	903	734	522	643	567	467	6,697

# 救急關係



# 月別救急状況

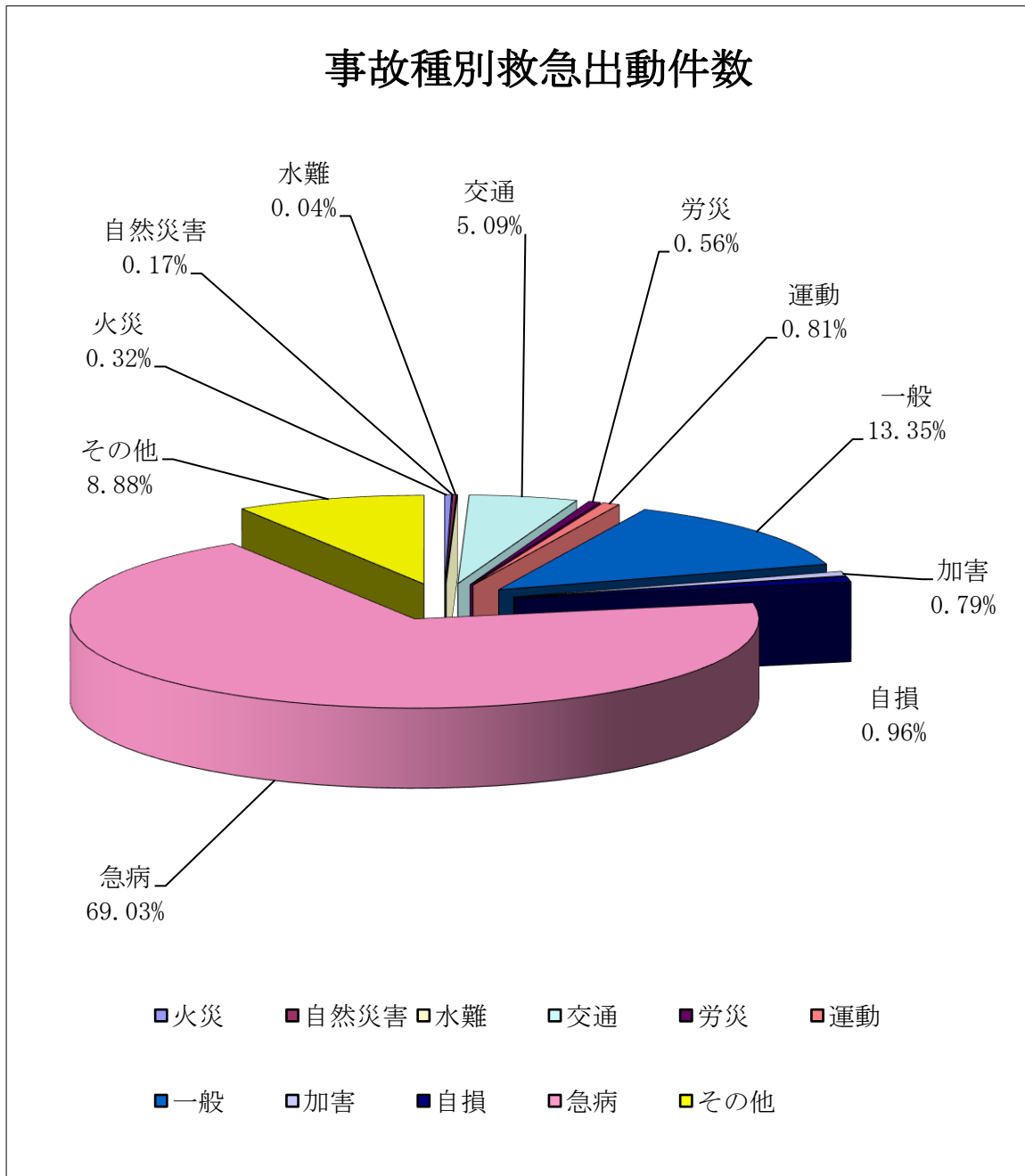
(平成30年)

事故種別 月 区分		救 急 事 故 種 別											
		計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 事 故	急 病	そ 転 の 他 院
計	出動件数	7,818	25	13	3	398	44	63	1,044	62	75	5,397	694
	搬送人員	7,093	8	13	1	365	44	65	893	48	55	5,017	584
1月	出動件数	785	0	0	0	33	3	3	91	1	6	584	64
	搬送人員	734	0	0	0	35	3	5	82	1	5	551	52
2月	出動件数	671	3	0	0	31	4	12	88	8	0	450	75
	搬送人員	611	1	0	0	28	4	12	77	7	0	424	58
3月	出動件数	626	3	0	2	23	5	1	84	8	7	430	63
	搬送人員	571	1	0	1	19	5	1	71	7	5	407	54
4月	出動件数	630	2	0	0	39	1	3	90	4	7	421	63
	搬送人員	590	2	0	0	40	1	3	84	3	7	403	47
5月	出動件数	616	0	0	1	34	4	11	57	4	3	435	67
	搬送人員	546	0	0	0	29	4	11	53	4	1	390	54
6月	出動件数	617	1	0	0	28	1	10	85	6	10	409	67
	搬送人員	561	0	0	0	25	1	9	70	5	8	386	57
7月	出動件数	709	2	1	0	37	7	5	100	5	7	484	61
	搬送人員	637	0	1	0	33	7	5	86	3	4	443	55
8月	出動件数	679	1	0	0	41	4	6	73	8	13	489	44
	搬送人員	633	0	0	0	41	4	7	67	7	12	454	41
9月	出動件数	617	4	10	0	33	6	3	88	4	5	408	56
	搬送人員	545	3	10	0	31	6	3	65	3	3	372	49
10月	出動件数	673	2	2	0	49	3	4	104	4	4	458	43
	搬送人員	603	0	2	0	42	3	4	88	1	2	427	34
11月	出動件数	559	3	0	0	22	3	1	92	5	8	379	46
	搬送人員	503	1	0	0	16	3	1	82	3	5	349	43
12月	出動件数	636	4	0	0	28	3	4	92	5	5	450	45
	搬送人員	559	0	0	0	26	3	4	68	4	3	411	40

## 事故種別救急出動件数

(平成30年)

事故種別 救急出動	火災	自然 災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他	計
件数	25	13	3	398	44	63	1,044	62	75	5,397	694	7,818
比率 (%)	0.32	0.17	0.04	5.09	0.56	0.81	13.35	0.79	0.96	69.03	8.88	100.00

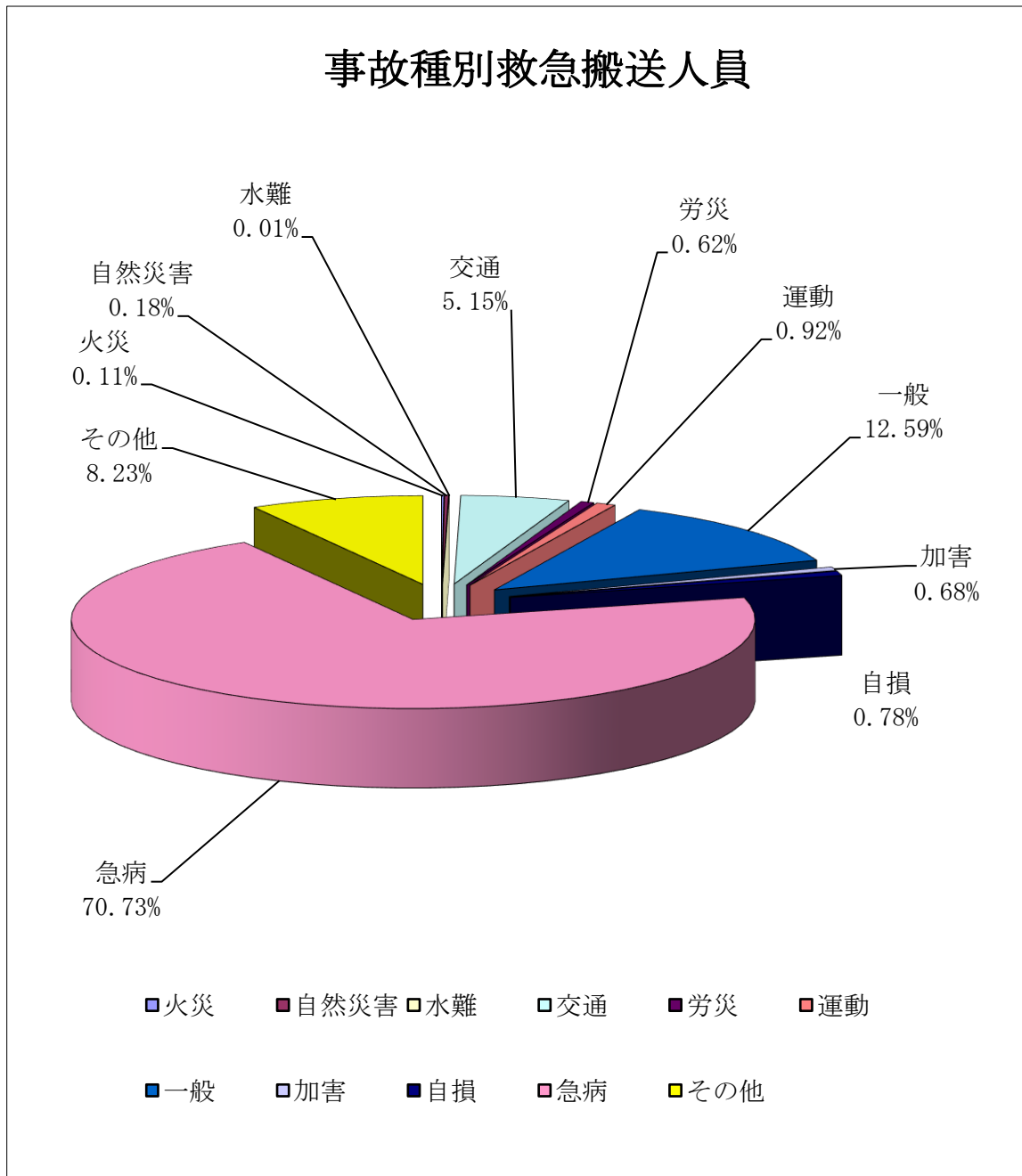




## 事故種別救急搬送人員

(平成30年)

事故種別 救急出動	火災	自然 災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他	計
搬送人員	8	13	1	365	44	65	893	48	55	5,017	584	7,093
比率 (%)	0.11	0.18	0.01	5.15	0.62	0.92	12.59	0.68	0.78	70.73	8.23	100.00



## 曜 日 別 救 急 出 動 状 況 調

(平成30年)

曜 日 \ 事故種別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院	そ の 他	計
月	4	1	0	53	6	2	134	2	8	812	106	16	1,144
火	3	1	0	65	6	3	149	7	13	781	96	15	1,139
水	3	0	0	49	8	4	114	6	10	709	92	16	1,011
木	4	1	0	53	7	4	147	12	14	722	86	7	1,057
金	3	2	1	58	9	12	137	7	9	758	92	21	1,109
土	4	7	0	54	6	21	171	8	8	836	66	29	1,210
日	4	1	2	66	2	17	192	20	13	779	35	17	1,148
計	25	13	3	398	44	63	1,044	62	75	5,397	573	121	7,818

# 時間別救急出動件数調

(平成30年)

時間 \ 事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他	
0 ~ 2	3	0	2	17	3	0	75	7	10	328	13	0	0	7	465
2 ~ 4	3	0	0	12	0	0	56	7	4	276	11	0	0	13	382
4 ~ 6	1	1	0	12	2	0	46	6	7	275	3	0	0	14	367
6 ~ 8	1	2	0	34	2	1	66	3	4	364	6	0	0	8	491
8 ~ 10	2	1	0	48	8	4	117	1	7	532	47	0	0	6	773
10 ~ 12	2	2	0	43	4	9	114	4	5	522	124	0	0	14	843
12 ~ 14	0	2	1	47	5	10	88	2	8	519	116	0	0	10	808
14 ~ 16	1	1	0	37	10	16	105	4	8	498	78	0	0	15	773
16 ~ 18	2	1	0	52	7	14	120	4	5	523	90	0	0	6	824
18 ~ 20	3	1	0	48	3	8	107	5	4	605	35	0	0	12	831
20 ~ 22	6	1	0	27	0	1	80	8	5	505	32	0	0	7	672
22 ~ 24	1	1	0	21	0	0	70	11	8	450	18	0	0	9	589
計	25	13	3	398	44	63	1,044	62	75	5,397	573	0	0	121	7,818

# 時間別搬送人員調

(平成30年)

時間 \ 事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
0 ~ 2	0	0	1	14	3	0	62	7	9	300	12	408
2 ~ 4	2	0	0	10	0	0	47	5	3	247	11	325
4 ~ 6	0	1	0	11	2	0	40	5	5	259	5	328
6 ~ 8	0	2	0	30	2	1	59	3	3	345	7	452
8 ~ 10	0	1	0	45	8	4	107	1	4	505	48	723
10 ~ 12	0	2	0	36	4	8	98	3	2	476	124	753
12 ~ 14	0	2	0	43	5	11	80	0	7	489	116	753
14 ~ 16	0	1	0	39	10	18	91	4	6	465	81	715
16 ~ 18	1	1	0	44	7	14	104	3	3	487	91	755
18 ~ 20	2	1	0	48	3	8	90	2	2	569	36	761
20 ~ 22	2	1	0	28	0	1	63	7	4	470	34	610
22 ~ 24	1	1	0	17	0	0	52	8	7	405	19	510
計	8	13	1	365	44	65	893	48	55	5,017	584	7,093

## 事故種別傷病程度別搬送人員調

(平成30年)

	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他	計
死亡	1	0	0	6	0	0	1	0	11	70	11	100
重症	0	0	0	16	5	1	150	2	4	495	120	793
中等症	4	2	1	55	14	6	202	2	17	1,781	349	2,433
軽症	3	11	0	288	25	58	539	44	23	2,665	100	3,756
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	6	4	11
計	8	13	1	365	44	65	893	48	55	5,017	584	7,093

## 事故種別年齢区分別搬送人員調

(平成30年)

	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他	計
新生児	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	25	30
乳幼児	0	0	0	22	0	0	46	0	0	220	10	298
少年	0	0	0	40	0	51	36	2	1	154	6	290
成年	6	6	1	225	37	14	232	35	48	1,759	141	2,504
高齢者	2	7	0	78	7	0	578	11	6	2,880	402	3,971
計	8	13	1	365	44	65	893	48	55	5,017	584	7,093

## 現場到着所要時間別出動件数調

(平成30年)

現場到着 事故種別	現場到着					計	現場到着最 短所要時間 (分)	現場到着最 長所要時間 (分)	現場到着平 均所要時間 (分)
	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上				
急病	24	487	4,184	692	10	5,397	0	50	7.1
交通	0	37	293	67	1	398	3	21	7.4
一般負傷	1	107	799	136	1	1,044	0	20	7
上記以外	7	172	686	111	3	979	0	50	6.8
計	32	803	5,962	1,006	15	7,818			

## 收容所要時間別搬送人員調

(平成30年)

收容所 所要時間 事故種別	10分未満		10分以上 20分未満		20分以上 30分未満		30分以上 60分未満		60分以上 120分未満		120分以上		合計		收容最短 所要時間 (分)	收容最長 所要時間 (分)	收容平均 所要時間 (分)
	管内	管外	管内	管外	管内	管外	管内	管外	管内	管外	管内	管外	管内	管外			
急病	0	0	471	378	3,176	2,539	1,349	993	20	15	1	1	5,017	3,926	10	167	26.9
交通	0	0	21	17	210	165	134	103	0	0	0	0	365	285	15	58	28.6
一般負傷	0	0	62	51	549	450	279	206	3	3	0	0	893	710	13	78	27.4
上記以外	0	0	143	110	488	372	178	149	8	6	1	1	818	638	13	122	25.9
計	0	0	697	556	4,423	3,526	1,940	1,451	31	24	2	2	7,093	5,559			

## 管内管外別搬送人員調

(平成30年)

事故種別 住所区分	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
管内に住所を有するもの	6	12	1	249	27	32	810	40	51	4,594	337	6,159
管外に住所を有するもの	1	1	0	112	17	33	69	7	1	396	243	880
その他	1	0	0	4	0	0	14	1	3	27	4	54
計	8	13	1	365	44	65	893	48	55	5,017	584	7,093

## 発生場所別搬送人員調

(平成30年)

発生場所別 事故種別	住 宅	公衆出入場所	仕 事 場	道 路	そ の 他	計
急 病	3,520	1,161	59	265	12	5,017
交 通	5	8	1	349	2	365
一般負傷	534	188	6	153	12	893
その他	84	666	34	26	8	818
計	4,143	2,023	100	793	34	7,093

## 救急隊員の行った応急処置件数調

(平成30年)

事故種別	応急処置 対象 人員	止血	固定	人工 呼吸	心マッサージ		心肺蘇生		酸素 吸入	気道確保				保温	被覆	
						うち自動		うち自動		*1	*2	*3	*4			
急病	5,011	16	50	61	22	13	96	49	1,252	196	4	0	26	2	1511	19
交通事故	364	11	232	4	3	2	7	2	20	10	4	0	1	0	38	38
一般負傷	891	74	204	5	1	1	5	1	38	10	1	0	1	0	134	125
上記以外	818	22	57	20	8	6	23	10	303	44	0	0	2	3	268	30
計	7,084	123	543	90	34	22	131	62	1,613	260	9	0	30	5	1,951	212

(注) 1 本表は、傷病者を医療機関等へ搬送するまでの間に救急隊員が行った応急処置について、その処置の対象となった傷病者の数及び処置件数を記載すること。

2 気道確保欄の\*1には、経鼻エアウェイを使用しての気道確保を行った件数。

\*2には、喉頭鏡・鉗子等による異物除去を行った件数。

\*3には、救急救命士がラリングアルマスク等を使用して気道確保を行った件数。

\*4には、救急救命士が気管挿管処置を実施して気道確保を行った件数。

事故種別	応急処置	在宅療養継続			ショックパ ンツによる 血圧保持	除細動	静脈路 確保 (輸液)	薬剤 投与	その他 の応急 処置	血圧 測定	聴診器に よる心音 呼吸音聴取	血中酸素 飽和度の 測定	心電図		計
		*A	*B	*C										うち 伝送	
急病	313	10	32	281	0	9	49	30	4,481	4,820	1,956	4,907	2,295	26	22,083
交通事故	3	0	0	3	0	0	4	3	312	349	189	354	55	0	1,632
一般負傷	26	1	3	22	0	0	3	2	795	871	173	883	100	0	3,449
上記以外	20	1	1	19	0	0	12	8	689	748	285	785	266	1	3,588
計	362	12	36	325	0	9	68	43	6,277	6,788	2,603	6,929	2,716	27	30,752

(注) 3 在宅療法継続欄の\*Aには、在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対して応急処置を行った件数。

\*Bには、気管切開孔又は気管瘻・人工肛門等の外瘻が施されている傷病者に対して応急処置を行った件数。

\*Cには、\*A・\*B以外の在宅療法継続中の傷病者に対して応急処置を行った件数。



# 転 院 状 況 調

(平成30年)

医 療 機 関	ち ゆ う ざ ん 病 院	沖 縄 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン セ ン タ ー	愛 聖 ク リ ニ ツ ク	新 垣 病 院	中 部 協 同 病 院	沖 縄 中 央 病 院	中 部 産 婦 人 科 医 院	う ち ま 内 科	安 立 医 院	プ ラ ザ ク リ ニ ツ ク	翔 南 病 院	嘉 数 医 院	中 頭 病 院	ゆ い ク リ ニ ツ ク	泡 瀬 第 一 ・ 二 医 院	浦 添 総 合 病 院	富 名 腰 医 院	美 原 ク リ ニ ツ ク	潮 平 病 院	そ の 他 の 医 療 機 関	合 計
件 数	111	74	32	37	59	43	27	14	10	2	32	4	25	4	4	4	11	1	11	68	573
比 率 (%)	19.4	12.9	5.6	6.5	10.3	7.5	4.7	2.4	1.7	0.3	5.6	0.7	4.4	0.7	0.7	0.7	1.9	0.2	1.9	11.9	100.0

## 病 院 別 搬 送 人 員 調

病 院 年	中部病院	中部徳洲会病院	中頭病院	中部協同病院	その他の 医療機関	計
平成26年	1,797	3,489	1,266	62	111	6,725
平成27年	1,738	3,200	1,388	60	103	6,489
平成28年	1,908	3,298	1,659	67	118	7,050
平成29年	1,879	3,460	1,852	82	101	7,374
平成30年	1,729	3,395	1,775	67	127	7,093

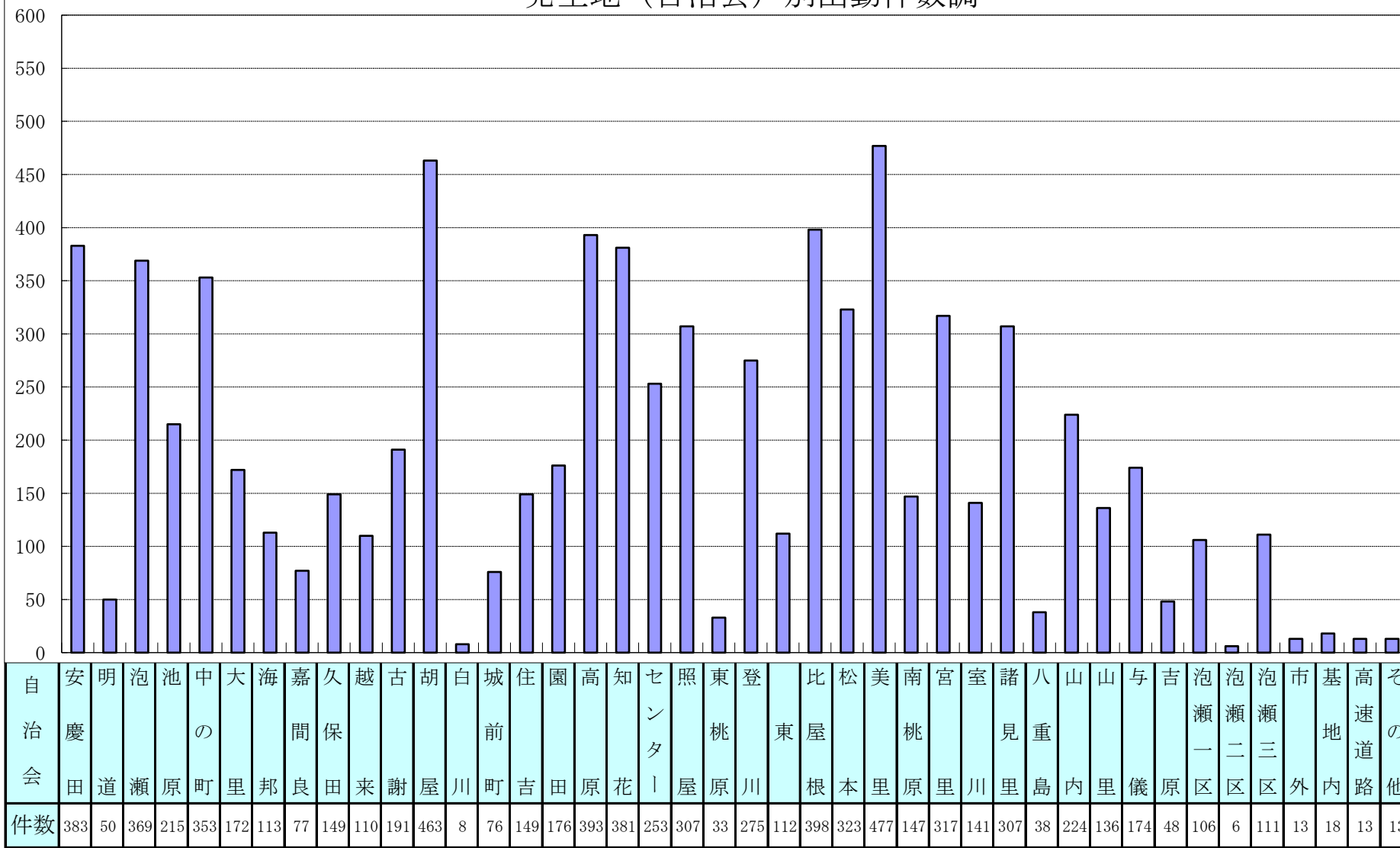
## 本 署 ・ 出 張 所 出 動 件 数 調

年別	本 署	山内出張所	泡瀬出張所	計
平成26年	3,675	1,953	1,784	7,412
平成27年	3,675	1,845	1,613	7,133
平成28年	3,925	2,039	1,776	7,740
平成29年	4,105	1,989	1,902	7,996
平成30年	3,966	1,965	1,887	7,818

過去5年間の救急出動状況調

年次 \ 事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他	計
平成26年	30	4	8	545	51	55	892	75	72	4,704	976	7,412
平成27年	38	1	4	481	40	56	888	53	59	4,553	960	7,133
平成28年	25	0	2	484	43	50	938	56	71	5,036	1,035	7,740
平成29年	17	1	7	473	41	58	1,051	81	61	5,339	867	7,996
平成30年	25	13	3	398	44	63	1,044	62	75	5,397	694	7,818

発生地（自治会）別出動件数調



## 市民に対する救急法講習実施状況

(平成30年)

月	一般講習		救急入門 コース		普通 救命講習Ⅰ		普通 救命講習Ⅱ		普通 救命講習Ⅲ		上級 救命講習		普及員 講習		計	
	講習 回数	受講 人数	講習 回数	受講 人数	講習 回数	受講 人数	講習 回数	受講 人数	講習 回数	受講 人数	講習 回数	受講 人数	講習 回数	受講 人数	講習 回数	受講 人数
1月			7	278	5	69			3	39	1	8			16	394
2月			9	375	4	68			3	47					16	490
3月			3	148	2	17			2	18			1	1	8	184
4月	1	300	5	169	3	33	3	71	4	64			1	1	17	638
5月			14	687	3	43			5	66	1	5			23	801
6月	2	56	12	524	9	136			7	102					30	818
7月	1	149	6	236	5	85			10	214					22	684
8月			4	76	8	166			2	20	1	8			15	270
9月	1	150	2	29	2	35			3	64	1	5			9	283
10月			3	29	3	45			2	13	1	5			9	92
11月	1	160	3	57	9	115			4	50					17	382
12月	2	719	2	35	7	138			2	21					13	913
計	8	1,534	70	2,643	60	950	3	71	47	718	5	31	2	2	195	5,949

### 救急法講習の種類と内容

講習の種類	時間	内 容
一般講習	2時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心肺蘇生法（一人法）</li> <li>・大出血時の止血法</li> <li>・AED（自動体外式除細動器）の取扱</li> </ul>
救急入門コース	90分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心肺蘇生法（主に成人対象）</li> <li>・AED（自動体外式除細動器）の取扱</li> <li>・人工呼吸（紹介）</li> </ul>
普通救命講習Ⅰ	3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心肺蘇生法（主に成人）</li> <li>・異物除去法</li> <li>・大出血時の止血法</li> <li>・AED（自動体外式除細動器）の取扱</li> </ul>
普通救命講習Ⅱ	4時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心肺蘇生法（主に成人）</li> <li>・異物除去法</li> <li>・大出血時の止血法</li> <li>・AED（自動体外式除細動器）の取扱</li> <li>・筆記試験、実技試験</li> </ul>
普通救命講習Ⅲ	3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心肺蘇生法（主に新生児・乳児・小児）</li> <li>・異物除去法</li> <li>・大出血時の止血法</li> <li>・AED（自動体外式除細動器）の取扱</li> </ul>
上級救命講習	8時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心肺蘇生法（すべての年齢）</li> <li>・異物除去法</li> <li>・大出血時の止血法</li> <li>・AED（自動体外式除細動器）の取扱</li> <li>・傷病者管理法、骨折時の固定法、熱傷の手当、搬送法</li> <li>・筆記試験、実技試験</li> </ul>
普及員講習	24時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な知識技能</li> <li>・指導要領</li> <li>・効果測定・指導内容に関する質疑への対応</li> </ul>

# 通信關係

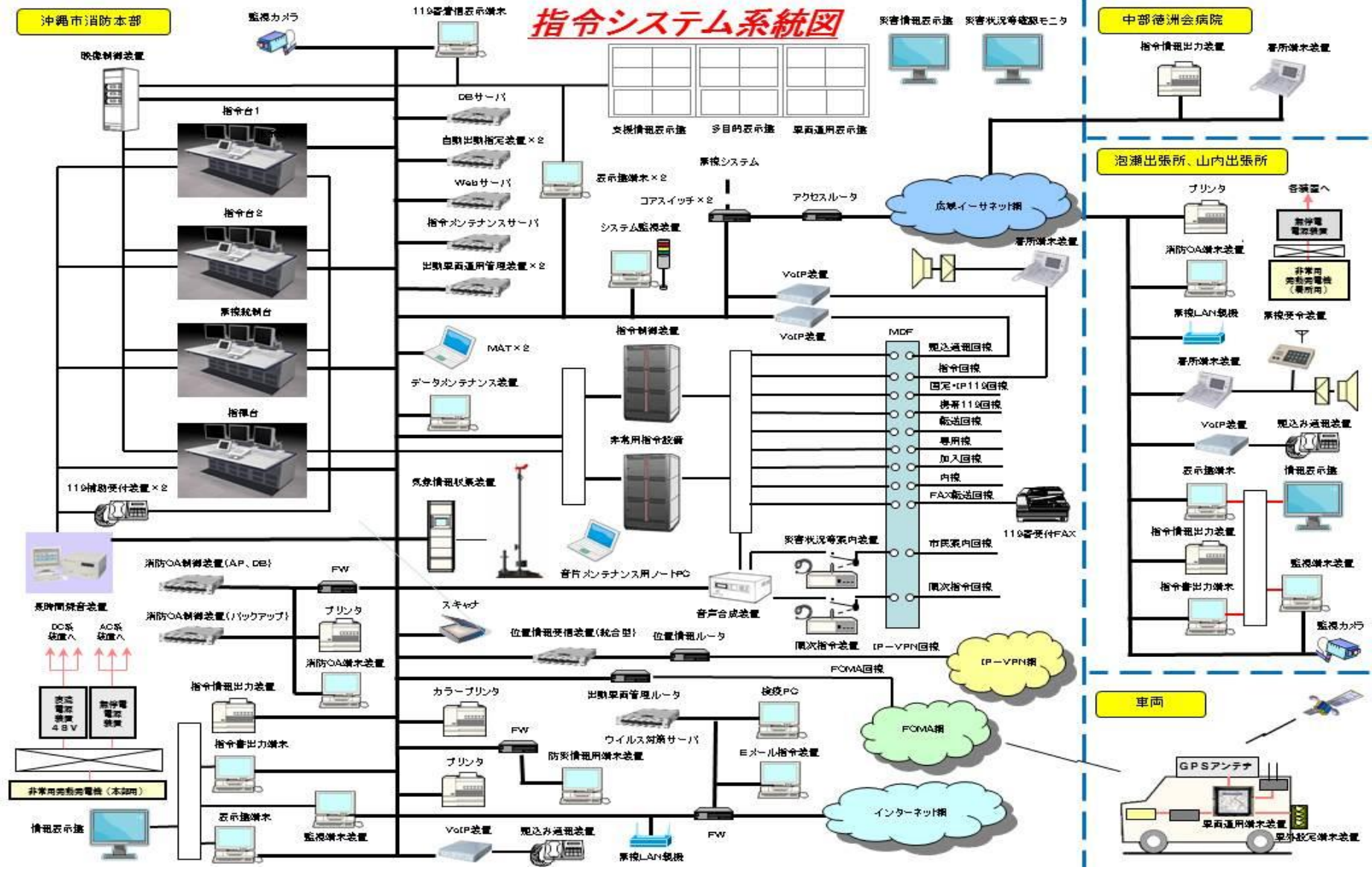


## 高機能消防指令センター設備

種 別	数量	種 別	数量
指令装置		電源設備	
指令台	2式	無停電電源装置（本部用）	2式
自動出場指令装置	4式	無停電電源装置（署所用）	4式
地図等検索装置	4式	直流電源装置（48V系）	1式
自動/地図/支援ディスプレイ	12台		
長時間録音装置	1式	消防情報支援システム	
非常用指令設備	1式	消防OAサーバ	1式
指令制御装置	1式	消防OA端末	17台
署所端末装置	4式	消防OAプリンタ	9台
プリンタ	1台	防災情報等端末装置	2台
カラープリンタ	1台		
スキャナ	1台	署所監視カメラシステム	
指揮台	1式	監視カメラ	11台
無線統制台	1式	監視管理装置	1台
		監視端末装置	4台
表示盤			
多目的表示板	1式	関連装置	
支援情報表示盤	1式	気象情報収集装置	1式
車両運用表示盤	1式	音声合成装置	1式
災害状況等確認モニター	2式	システム監視装置	1式
災害情報表示盤	1式	位置情報通知装置（統合型）	1式
署所及び本部用情報表示盤	4面	ネットワーク機器	1式
映像制御装置	1式	駆込み通報装置	3式
		Eメール指令装置	1式
指令伝送装置		入退室管理システム	1式
指令情報送信装置	1式	119補助受付装置	2台
指令情報出力端末	3式	指令室用電話交換機	1式
指令情報出力プリンタ	4式	検疫PC	1式
出場車両運用管理装置		避雷装置	
管理装置	1式	高速電源避雷器（本部用）	1式
車両運用端末装置（Ⅲ型）	20台	高速回線避雷器（本部用）	1式
車外設定端末装置	9台	高速回線避雷器（署所用）	2式

## 消防・救急デジタル無線設備

本部設備		移動局無線設備	
無線回線制御装置	1式	卓上型無線機	3台
管理監視制御卓	1式	車載型無線機	29台
遠隔制御器	3式	可搬型無線機	3台
基地局無線設備	1式	携帯型無線機	17台
18GHz帯FWA	2式	署活用携帯無線機	33台
		署所用受令機（卓上型）	3台
ネットワーク機器		署所用受令機（指令バックアップ用）	2台
直流電源装置	2式	署所用受令機（携帯型）	5台



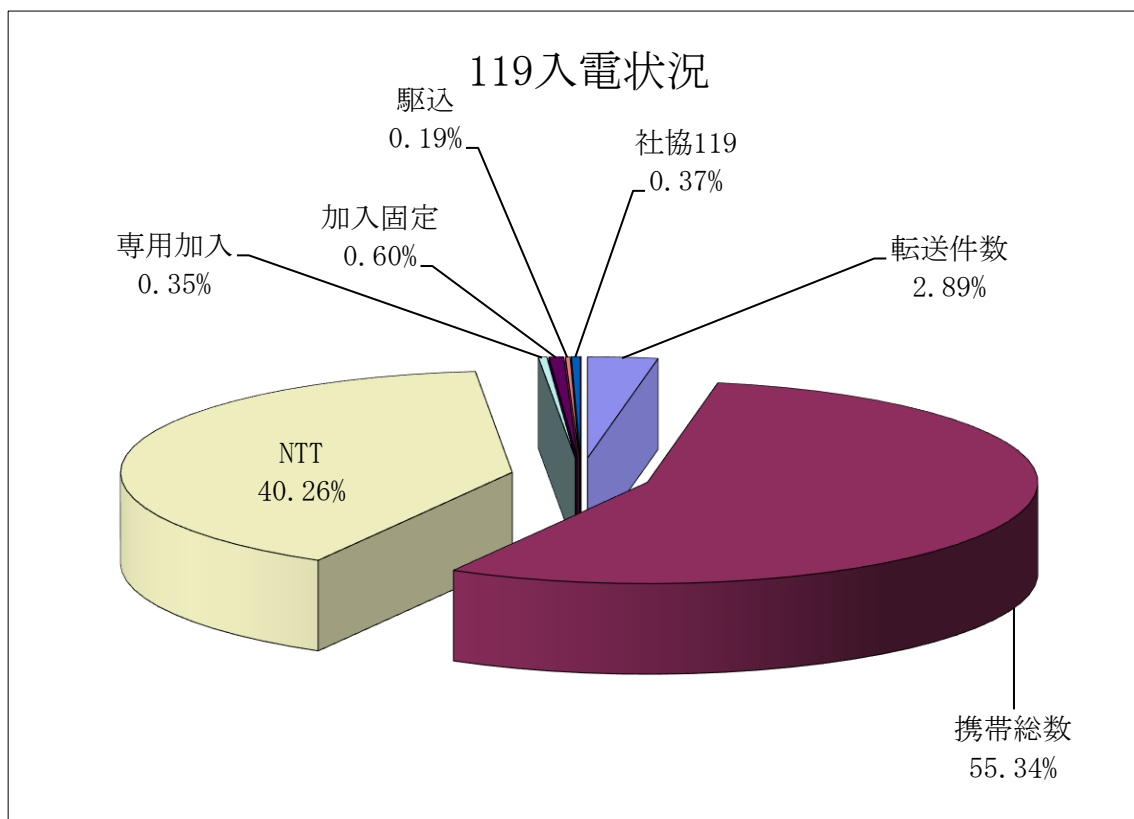


# 119 入電状況

平成30年

月	転送件数	携帯総数	NTT	専用加入	加入固定	駆込	社協119	計
1	35	709	506	3	6	3	3	1,265
2	48	573	530	2	2	1	1	1,157
3	24	565	491	4	6	1	5	1,096
4	34	607	459	12	5	1	3	1,121
5	30	572	505	1	5	1	6	1,120
6	30	634	431	4	11	4	2	1,116
7	34	699	502	4	12	4	6	1,261
8	34	701	470	2	6	1	5	1,219
9	56	1,066	540	2	18	3	3	1,688
10	33	716	484	6	6	6	11	1,262
11	25	527	429	4	3	1	5	994
12	35	639	479	6	7	2	3	1,171
計	418	8,008	5,826	50	87	28	53	14,470

※ I P 電話は、N T T に含める。

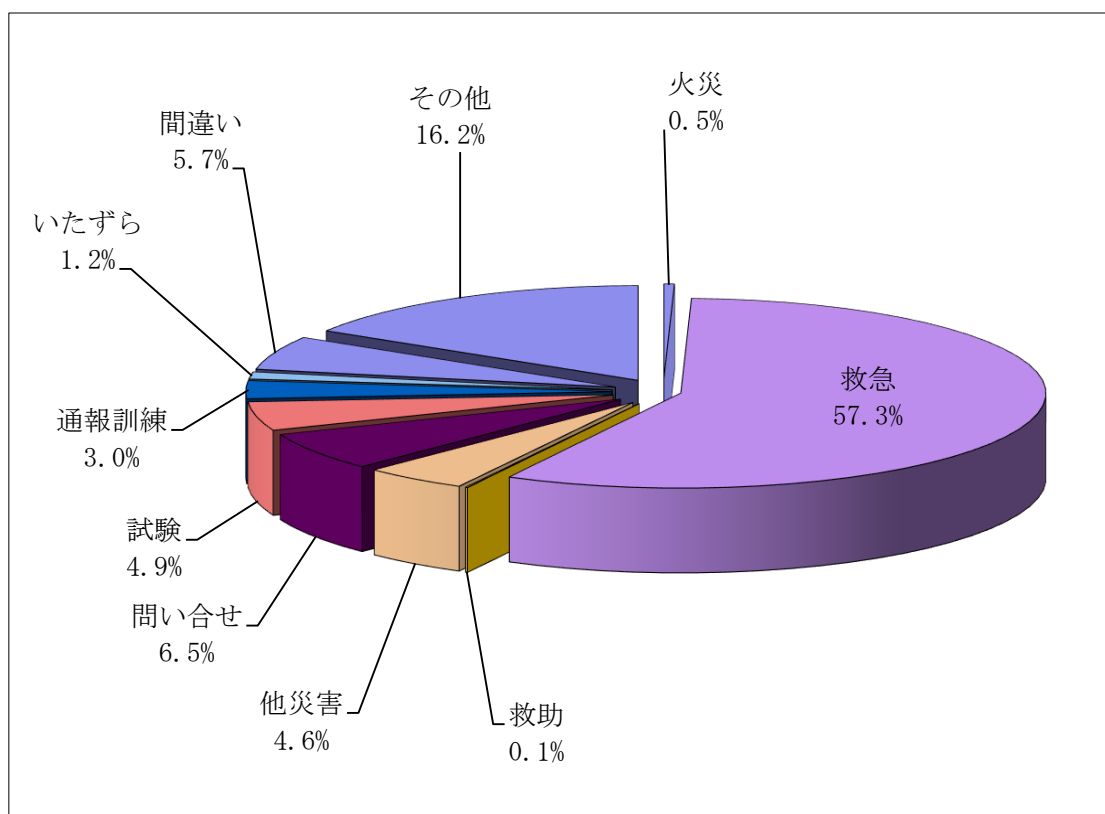


# 災害別119受信件数

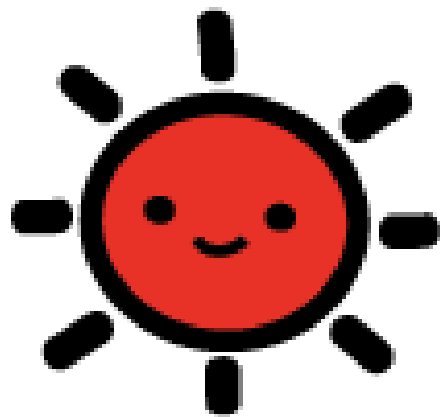
平成30年

月	火災	救急	救助	他災害	問い合わせ	試験	通報訓練	いたずら	間違い	その他	計
1	2	796	0	35	60	44	24	8	57	189	1,215
2	9	701	0	22	40	65	36	21	58	151	1,103
3	10	641	2	25	44	79	37	4	54	160	1,056
4	6	642	2	19	40	87	21	11	41	197	1,066
5	6	623	0	23	45	81	31	13	68	187	1,077
6	3	621	1	31	65	46	36	19	74	169	1,065
7	5	718	1	39	82	45	33	8	83	187	1,201
8	2	687	3	25	81	53	36	22	73	189	1,171
9	6	621	2	329	189	34	36	9	72	308	1,606
10	8	673	1	55	116	42	39	18	68	180	1,200
11	4	563	0	14	54	36	50	18	62	155	956
12	3	639	1	19	81	63	40	14	84	174	1,118
計	64	7,925	13	636	897	675	419	165	794	2,246	13,834

※ 他災害は、自然災害を含む



# 氣象關係



# 気 象 状 況 調

平成30年1月～12月

	月平均気圧 (hpa)	降水量 (mm)	気 温 (°C)			風向・風速 (m/s)		湿 度 (%)
			最 高	最 低	月平均	最多風向	月平均	月平均
1月	1013.6	67.0	20.2	10.8	16.4	北東	2.8	73.7
2月	1013.9	81.0	20.3	10.2	16.3	北	2.8	72.3
3月	1011.6	171.0	22.5	15.1	19.3	東北東	2.8	74.1
4月	1010.3	122.5	24.5	15.4	21.1	南東	2.8	78.8
5月	1006.4	31.5	28.2	19.4	25.3	南南東	3.0	82.8
6月	1001.5	296.0	29.1	23.4	27.5	南東	3.2	87.4
7月	1000.1	332.0	30.2	25.2	28.0	東北東	3.8	89.2
8月	999.3	213.5	29.5	25.6	28.3	南東	3.3	87.5
9月	1002.9	285.5	29.3	25.5	28.1	南東	3.3	85.0
10月	1008.9	274.5	24.2	18.9	23.4	北東	2.4	79.1
11月	1012.6	107.5	24.2	19.8	22.6	北東	2.3	76.9
12月	1014.8	171.5	24.2	19.8	19.8	北東	2.6	79.4
年平均	1008.0	179.5	25.5	19.1	23.0	/	2.9	80.5

## 月別・平均気温・平均湿度調

資料：沖縄市消防本部

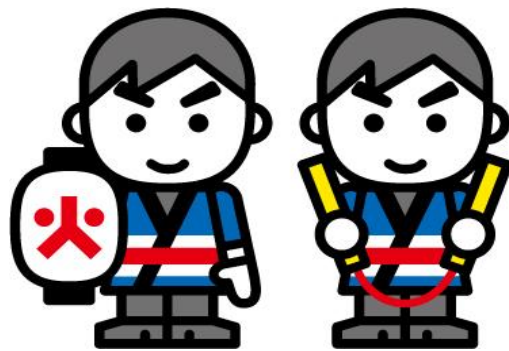
	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成25年	気温	16.8	18.5	20.3	20.6	23.9	28.4	29.8	30.4	28.6	25.4	21.2	17.1
	湿度	68.4	74.6	73.6	75.5	83.1	79.5	74.4	74.7	76.5	75.1	70.1	67.6
平成26年	気温	16.8	17.9	18.4	20.9	23.6	26.9	29.3	28.7	28.8	25.4	22.6	17.6
	湿度	61.0	72.0	69.0	73.0	81.0	85.0	80.0	82.0	75.0	70.0	68.0	62.0
平成27年	気温	16.6	16.8	19.0	22.2	24.9	28.7	29.0	28.7	27.8	25.5	23.8	20.1
	湿度	61.0	65.0	72.0	76.0	81.0	83.0	79.0	79.0	73.0	68.0	71.0	68.0
平成28年	気温	15.2	16.1	18.0	22.6	25.2	28.0	29.6	29.5	27.9	27.5	22.6	19.9
	湿度	72.9	68.1	73.1	84.4	85.9	84.8	78.9	77.7	83.0	82.9	72.1	67.8
平成29年	気温	17.7	16.4	17.7	21.1	23.7	26.2	29.7	30.2	28.6	26.6	22.2	17.4
	湿度	69.6	67.8	71.7	76.6	83.8	89.3	81.1	80.3	81.4	79.4	77.6	68.7
平成30年	気温	16.4	16.3	19.3	21.1	25.3	27.5	28.0	28.3	28.1	23.4	22.6	19.8
	湿度	73.7	72.3	74.1	78.8	82.8	87.4	89.2	87.5	85.0	79.1	76.9	79.4

## 沖縄近海に接近した台風

資料：沖縄气象台

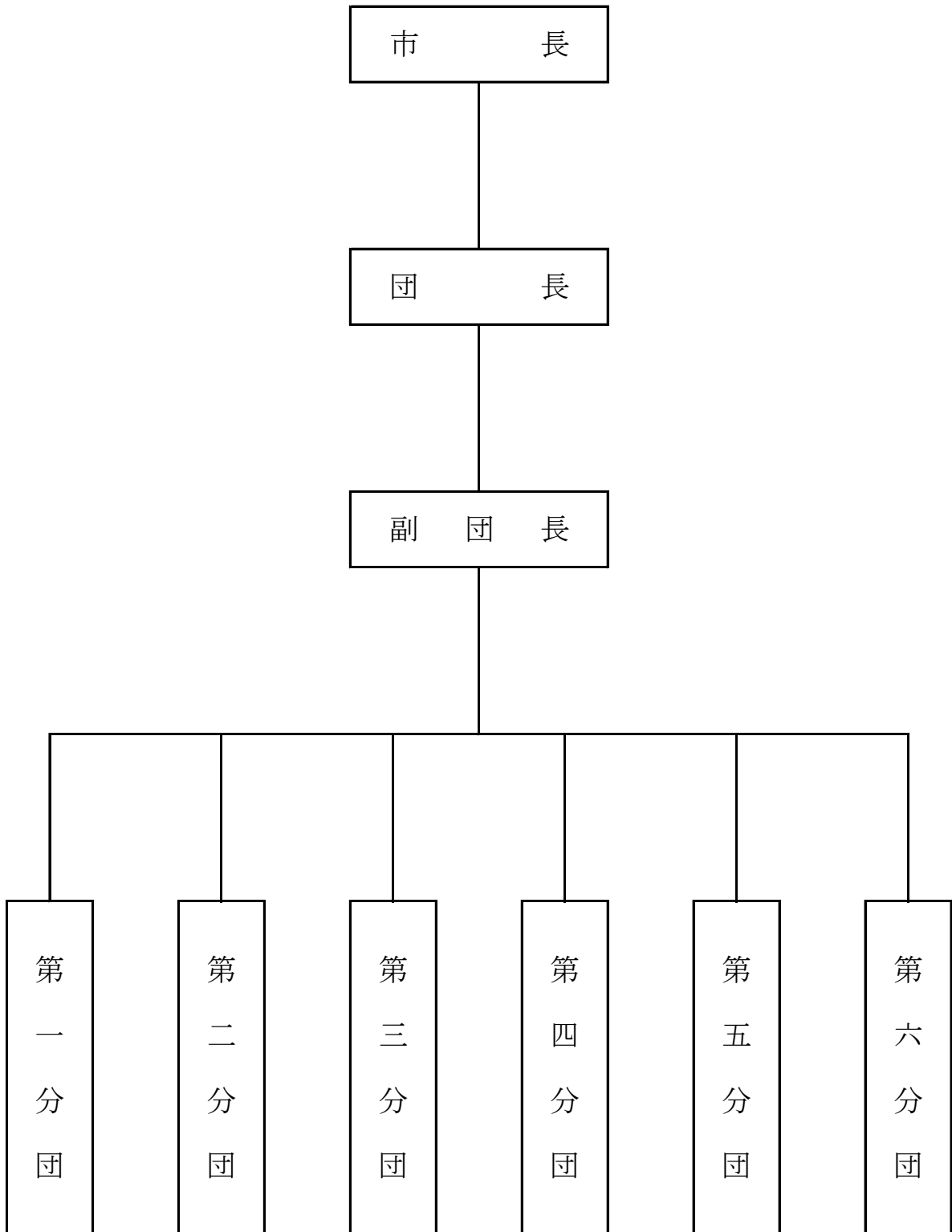
	年度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総数
台風発生数	26年	2	1		2		2	5	1	5	2	1	2	23
	27年	1	1	2	1	2	2	3	4	5	4	1	1	27
	28年							4	7	7	4	3	1	26
	29年				1		1	8	5	4	3	3	2	27
	30年	1	1	1			4	5	9	4	1	3		29
	S30～現在	24	11	19	39	54	93	209	300	267	196	128	61	1,401
沖縄那覇から300キロ以内に接近した台風	26年						2	3	2	2	2			11
	27年					1		2	2	1				6
	28年							1	1	4	1			7
	29年							3	1	1	2			7
	30年						2	3	4	2	1	1		13
	S30～現在				5	19	38	90	133	98	43	27	2	455

# 消防団関係



# 沖縄市消防団の組織図

平成31年4月1日現在



## 消 防 団 の 沿 革

昭和 49 年 4 月 1 日	コザ市、美里村が合併して沖縄市が誕生し、沖縄市消防団が発足 初代消防団長に金城棟撰（旧コザ市消防団長）が就任 消防団員の定数50人となる
昭和 50 年 3 月 8 日	金城棟撰消防団長退任、第2代目消防団長に吉本武市就任
昭和 53 年 10 月 14 日	第6回全国消防操法大会出場、優良賞受賞（自動車の部）（東京）
昭和 54 年 2 月 10 日	日本消防協会より特別表彰で表彰旗を授与される
昭和 55 年 10 月 12 日	第7回全国消防操法大会出場（小型ポンプの部）（東京）
昭和 57 年 10 月 11 日	第8回全国消防操法大会出場（自動車の部）（東京）
昭和 58 年 1 月 5 日	日本消防協会より特別表彰で表彰旗を授与される
昭和 59 年 2 月 10 日	日本消防協会より特別表彰で最高荣誉賞まといを授与される
10 月 14 日	第9回全国消防操法大会出場（小型ポンプの部）（横浜市）
昭和 61 年 10 月 15 日	第10回全国消防操法大会出場（自動車の部）（横浜市）
昭和 62 年 10 月 25 日	第42回国民体育大会（海邦大会）消防警備実施 （10月25日～10月30日）
11 月 14 日	第23回全国身体障害者スポーツ大会（かりゆし大会）消防警備実施 （11月14日～11月15日）
昭和 63 年 10 月 11 日	第11回全国消防操法大会出場（小型ポンプの部）（横浜市）
平成 2 年 5 月 15 日	吉本武市消防団長春の叙勲で藍綬褒賞受賞
8 月 10 日	日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車1台寄贈（日産）
10 月 10 日	第12回全国消防操法大会出場（自動車の部）（横浜市）
平成 3 年 3 月 9 日	吉本武市消防団長退任
4 月 1 日	第3代目消防団長に岩下武治就任
平成 4 年 10 月 14 日	第13回全国消防操法大会出場（小型ポンプの部）（横浜市）
平成 6 年 10 月 11 日	第14回全国消防操法大会出場（ポンプ車の部）（横浜市）
平成 7 年 3 月 31 日	岩下武治消防団長退任
4 月 1 日	第4代目消防団長に山入端治男就任
平成 8 年 10 月 16 日	第15回全国消防操法大会出場（小型ポンプの部）（横浜市）
平成 11 年 3 月 31 日	山入端治男消防団長退任
4 月 1 日	第5代目消防団長に池宮城盛基就任
平成 12 年 10 月 19 日	第17回全国消防操法大会出場（小型ポンプの部）（横浜市）
平成 14 年 10 月 24 日	第18回全国消防操法大会出場（ポンプ車の部）（横浜市）
平成 16 年 11 月 8 日	第19回全国消防操法大会出場（小型ポンプの部）（横浜市）
平成 17 年 3 月 31 日	池宮城盛基消防団長退任
4 月 1 日	第6代目消防団長に仲里博市就任
平成 20 年 10 月 12 日	第21回全国消防操法大会出場（小型ポンプの部）（東京都）
12 月 22 日	財団法人日本消防協会から多機能型車両1台寄贈
平成 22 年 8 月 30 日	平成22年度ふるさと消防団活性化助成事業（宝くじ助成金） 心肺蘇生訓練用人形3体、AEDトレーナー2台 啓発ポスター作成用パソコン・プリンター2台
平成 23 年 3 月 31 日	仲里博市消防団長退任



## 消 防 団 の 沿 革

平成 23 年	4 月 1 日	第7代目消防団長に小濱守康就任
平成 26 年	3 月 31 日	消防団ポンプ自動車 (CD-I 型) 購入 (日野) (特定防衛施設周辺整備調整交付金)
平成 27 年	3 月 6 日	消防功労者消防庁長官表彰表彰旗 (消防本部・消防団)
	3 月 13 日	平成26年度コミュニティ助成事業 (宝くじ助成金) により 救命胴衣50着、特定小電力トランシーバー12機、液晶テレビ、 BDレコーダー購入 (安全装備品、情報伝達機器)
平成 28 年	3 月 31 日	小濱守康消防団長退任
	4 月 1 日	第8代目消防団長に久高清美就任 (全国初の女性消防団長) 沖縄市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部改正により 消防団員の定数72名、定年制の導入、報酬・費用弁償額の改正 女性分団創設
	9 月 30 日	総務省消防庁「女性や若者をはじめとした消防団加入促進支援事業」 受託契約 (リーフレット・うちわ・紙芝居作成、バルーン教室)
	10 月 14 日	第25回全国消防操法大会出場 (小型ポンプの部) (長野市)
平成 30 年	3 月 7 日	消防団等地域活動表彰 (消防庁長官表彰) 受賞
	11 月 9 日	小型動力ポンプB-2級購入 (トーハツ) (緊急防災・減災事業債)
平成 31 年	2 月 28 日	防火衣8式購入 (石油貯蔵施設立地対策等補助金)

## 消防団員の定数及び実員

平成31年4月1日現在

階 級	団長	副団長	分団長	副分団長	団員	計
定 数	1	1	6	6	58	72
実 数	1	1	6	6	46	60

## 消防団員の報酬及び費用弁償額

階 級	団長	副団長	分団長	副分団長	団員
年 報 酬	82,500円	69,000円	50,500円	45,500円	36,500円
費 用 弁 償	水火災その他の災害			4時間未満	4,000円
				4時間以上	7,000円
	警戒、防災指導、訓練等			4時間未満	3,000円
				4時間以上	5,000円
旅 費	市職員の旅費規定に準じて支給する				

## 消防団員の年齢調

平成31年4月1日現在

階級別 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	団員	計
18歳 ~ 25歳					4	4
26歳 ~ 30歳					4	4
31歳 ~ 35歳			1	1	4	9
36歳 ~ 40歳				1	4	5
41歳 ~ 45歳			1	1	6	8
46歳 ~ 50歳			1	2	4	7
51歳 ~ 55歳					10	10
56歳 ~ 60歳			1	1	6	8
61歳 ~ 65歳	1	1	2		4	8
66歳 ~ 70歳						0
計	1	1	6	6	46	60
平均年齢	61.0	65.0	50.3	44.8	44.8	41.6

## 消 防 団 員 の 勤 続 年 数 調

平成31年4月1日現在

階 級 年 数	団長	副団長	分団長	副分団長	団員	計
	5年未満					43
5 ～ 9			3	1	2	6
10 ～ 14			2	2		4
15 ～ 19				2		2
20 ～ 24	1		1	1		3
25 ～ 29		1			1	2
30年以上						0
計	1	1	6	6	46	60

## 消 防 団 車 両

種 別	台 数	摘 要
多機能型車両	1	いすゞ
消防団ポンプ車（CD-1型）	1	日野

## 消 防 団 員 出 動 状 況

平成30年度

区分	災害		警戒		防災指導		訓練		教育訓練		行事		会議等		その他		計	
	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員
4月	1	2			1	2	1	35					3	12	4	23	10	74
5月					1	8	1	27					1	1			3	36
6月					2	4	2	50					3	12			7	66
7月	1	4					15	164	3	3	1	18	1	1	1	6	22	196
8月							22	209					4	13			26	222
9月	2	17	2	21			8	68			3	28	3	14	1	5	19	153
10月	2	10			2	3			2	6			2	9	2	7	10	35
11月					13	28	2	36			2	14	1	10	1	4	19	92
12月							5	80					3	3			8	83
1月					2	3					1	33					3	36
2月			2	4	2	5	3	44					2	13			9	66
3月	1	2			10	30	1	27			1	5	1	9	1	5	15	78
計	7	35	4	25	33	83	60	740	5	9	8	98	24	97	10	50	151	1,137

# 女性防火クラブ 幼年消防クラブ



## 女性防火クラブ・役員・会員数

会 長	町 田 キヨ子
副 会 長	与那覇りょう子
副 会 長	上 間 春 子
会 計	照 屋 真 弓
監 事	比 嘉 さよ子
監 事	上 間 恵 子
相 談 役	川 上 のり子
相 談 役	屋 宜 ス ミ
相 談 役	仲 本 久 子
相 談 役	仲 尾 初 子
相 談 役	内 里 栄 子

役職	会長	副会長	会計	監事	支部長	相談役	計
人数	1	2	1	2	14	5	25

	支 部 名	支部長氏名	会員数
1	諸 見 里	崎 浜 悦 子	27
2	胡 屋	佐久本 那美子	61
3	セ ン タ ー	内 間 末 子	5
4	住 吉	桑 江 千 里	3
5	室 川	金 末 順	10
6	安 慶 田	島 袋 美智子	11
7	美 里	桃 原 節 子	63
8	泡 瀬 第 三	幸 地 光 子	7
9	中 の 町	上 間 恵 子	73
10	山 内	比 嘉 芳 子	15
11	照 屋	仲宗根 吉 子	31
12	知 花	仲 程 朝 子	16
13	泡 瀬	高江洲 恵美子	4
14	登 川	平 田 美砂子	4
計	14 支 部	14名	330 名

(平成31年3月31日現在)

## 女性防火クラブの趣旨

沖縄市女性防火クラブは、「地域の防火・防災は、婦人の手で」を合言葉に、昭和59年6月16日に10支部、会員数216人、初代会長に内里栄子が就任し、発足しました。

出初式、全国火災予防運動週間、救急の日等の消防行事に参加し、防火・思想の普及に努め、また、地域支援として、救急法教室や消火器の取り扱い訓練、防火映画の上映などを実施、家庭内で身近に起こる災害に対処できるように取り組んで来ました。

現在では、14支部、会員330人と着実に会は成長し、沖縄市から災害ゼロを目指し、たゆまず活動を続けているところです。

## 女性防火クラブの沿革

- 昭和 59 年 6 月 16 日 沖縄市婦人防火クラブ結成、10支部、会員数216人、初代会長に内里栄子就任し発足する。
- 昭和 60 年 2 月 28 日 (財) 日本消防協会より優良婦人防火クラブとして表彰を受ける。
- 昭和 61 年 10 月 28 日 第2回全国婦人操法大会に県代表出場 (7人参加) (横浜市)
- 昭和 62 年 2 月 5 日 防火クラブ広報車 (防火号) を (財) 日本防火協会より寄贈を受ける。
- 昭和 63 年 3 月 9 日 自治体消防40周年に参加 (東京都)
- 5 月 20 日 初代会長内里栄子退任、第2代目会長に仲本久子就任
- 平成 元 年 5 月 24 日 第2代目会長仲本久子退任、第3代目会長に仲尾初子就任
- 平成 2 年 5 月 25 日 第3代目会長仲尾初子退任、第4代目会長に荻堂吉子就任
- 平成 5 年 11 月 18 日 自治体消防45周年に参加 (東京都)
- 平成 6 年 11 月 2 日 母と子の防火全国大会にて優良婦人防火クラブ表彰を受ける。
- 平成 7 年 2 月 14 日 沖縄市婦人防火クラブ結成10周年記念式典開催
- 平成 8 年 2 月 9 日 4代目会長 荻堂吉子 優良婦人消防隊員の表彰を受ける。
- 平成 9 年 1 月 22 日 沖縄県消防学校落成式参加
- 平成 9 年 6 月 17 日 第4代目会長荻堂吉子退任、第5代目会長に屋宜スミ就任
- 平成 11 年 3 月 11 日 5代目会長 屋宜スミ 優良婦人消防隊員の表彰を受ける。
- 平成 12 年 5 月 31 日 第5代目会長屋宜スミ退任、第6代目会長に川上のり子就任
- 平成 13 年 1 月 9 日 心肺蘇生法訓練人形 (財) 日本消防協会より寄贈を受ける。
- 平成 13 年 2 月 9 日 6代目会長 川上のり子 優良婦人消防隊員の表彰を受ける。
- 平成 15 年 11 月 20 日 自治体消防55周年に参加 (東京都)
- 平成 18 年 5 月 25 日 第6代目会長川上のり子退任、第7代目会長に比嘉さよ子就任
- 平成 19 年 10 月 25 日 第18回全国女性操法大会に県代表出場 (7人参加) (横浜市)
- 平成 20 年 5 月 28 日 女性防火クラブ会則の改正 会則第6条 (4) 書記会計を置く。
- 平成 23 年 5 月 27 日 第7代目会長比嘉さよ子退任、第8代目会長に上間恵子就任
- 平成 26 年 2 月 7 日 沖縄市女性防火クラブ結成30周年記念式典開催
- 平成: 30 年 4 月 25 日 第8代目会長上間恵子退任、第9代会長に町田キヨ子就任

## 平成30年度 女性防火クラブ事業経過報告

### 平成30年

4月25日	平成30年度沖縄市女性防火クラブ会計監査	(会長 町田キヨ子	他 3名)
26日	沖縄市女性団体連絡協議会沖縄こどもの国フェスティバル 2018・ボランティア	(会長 町田キヨ子	他 8名)
30日	沖縄市女性団体連絡協議会沖縄こどもの国フェスティバル 2018・ボランティア	(会長 町田キヨ子	他 6名)
5月10日	沖縄市女性団体連絡協議会総会出席	(副会長 与那覇りょう子	他 2名)
6月8日	名護市女性防火クラブ20周年式典参加	(副会長 与那覇りょう子	他 1名)
25日	沖縄市女性団体連絡協議会パネル展	(副会長 与那覇りょう子	他 3名)
7月18日	沖縄市女性防火クラブ第1回支部長会	(会長 町田キヨ子	他 14名)
20日	沖縄市女性団体連絡協議会沖縄こどもの国フェスティバル 2018・ボランティア	(副会長 与那覇りょう子	他 11名)
31日	平成30年度沖縄市女性防火クラブ定期総会及び勉強会(救急基礎知識)	(会長 町田キヨ子	他 47名)
8月16日	那覇市女性防火クラブ30周年式典参加	(副会長 上間春子	他 1名)
9月12日	沖縄市女性防火クラブ第2回支部長会	(会長 町田キヨ子	他 12名)
13日	沖縄市女性団体連絡協議会研修会	(会長 町田キヨ子	他 3名)
10月3日	沖縄市女性防火第3回支部長会	(会長 町田キヨ子	他 17名)
月10日	沖縄市女性防火クラブ定期訓練(救急法講習会)	(会長 町田キヨ子	他 22名)
11月6日	平成30年消防殉職者慰霊祭参列	(会長 町田キヨ子	他 2名)
月9日	平成30年秋の火災予防運動出発式及び防火パレード参加	(会長 町田キヨ子	他 9名)
9日	平成30年秋の火災予防運動に伴う住宅用火災警報器設置啓発活動	(会長 町田キヨ子	他 9名)
10日	平成30年秋の火災予防運動に伴う住宅用火災警報器設置啓発活動	(副会長 上間春子	他 4名)
14日	平成30年秋の火災予防運動に伴うコザ商店街連合会火災予防調査	(胡屋支部長 佐久本那美子	他 4名)
22日	第20回沖縄県消防大会及び第39回沖縄県消防職員意見発表会	(会長 町田キヨ子	他 1名)
28日	沖縄市女性防火クラブ第4回支部長会	(会長 町田キヨ子	他 16名)

## 平成31年

1月4日	平成31年消防出初式炊き出し訓練準備	(会長 町田キヨ子	他 8名)
5日	平成31年消防出初式(式典及び炊出し訓練)	(会長 町田キヨ子	他 32名)
22日	平成30年度会計事務	(会計 照屋真弓)	
2月5日	平成31年度沖縄市女性防火クラブ視察研修	(会長 町田キヨ子	他 28名)
14日	平成30年度市町村防火クラブ指導者研修会及び沖縄県女性防火クラブ連絡協議会	(会長 町田キヨ子	他 1名)
20日	沖縄市女性防火クラブ第5回支部長会	(副会長 与那覇りょう子	他 13名)
3月1日	平成31年春の火災予防運動出発式参加	(副会長 与那覇りょう子	他 14名)
1日	平成31年春の火災予防運動に伴う住宅用火災警報器設置 啓発活動	(センター支部長 内間末子	他 3名)
4日	平成30年度住宅防火診断	(泡瀬支部長 高江州恵美子	他 3名)
19日	平成30年度第23期女性防火クラブ研修	(副会長 上間春子	他 2名)



## 幼年消防クラブ役員名簿

役 職	所 属
会 長	沖縄市消防本部消防長
副 会 長	沖縄市消防団団長
副 会 長	沖縄市消防本部次長
監査委員	愛香保育園園長
監査委員	沖縄市消防本部総務課長
委 員	諸聖徒保育園園長
委 員	南桃原保育所所長
委 員	沖縄市女性防火クラブ会長
事務局（予防課）	
事 務 局 長	沖縄市消防本部予防課長
書 記・会 計	予防係

## 幼年消防クラブ会員

平成30年度

No.	ク ラ ブ 名	電話番号	4歳以上
1	越 来 保 育 所 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 8 - 3 4 5 0	35
2	山 内 保 育 所 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 3 - 5 3 6 1	21
3	安 慶 田 保 育 所 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 7 - 1 9 8 1	10
4	胡 屋 あ け ぼ の 保 育 所 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 3 - 3 9 5 7	19
5	知 花 保 育 所 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 3 - 3 9 5 7	22
6	泡 瀬 保 育 所 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 8 - 2 4 5 1	28
7	南 桃 原 保 育 所 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 2 - 3 4 8 8	13
		計 A	148

No.	ク ラ ブ 名	電話番号	4歳以上
1	諸 聖 徒 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 3 - 0 8 2 5	41
2	光 の 子 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 2 - 3 4 7 4	43
3	で い ご 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 8 - 3 3 7 8	28
4	杉 の 子 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 7 - 7 6 3 4	29
5	胡 屋 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 3 - 0 2 6 8	25
6	こ ば と 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 3 - 1 0 0 2	40
7	室 川 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 7 - 7 0 0 8	21
8	こ と ぶ き 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 7 - 5 4 8 8	27
9	若 松 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 2 - 7 5 3 2	32
10	た ん ぼ ぼ 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 8 - 9 3 7 9	24
11	さ か え 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 3 - 0 4 0 8	17
12	愛 香 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 8 - 1 2 5 7	23
13	松 本 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 9 - 1 3 3 5	37
14	愛 の 星 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 2 - 4 1 5 0	23
15	み ち し お 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 8 - 3 1 7 1	28
16	シ ャ ロ ー ム 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 3 - 8 2 5 9	23
17	み は ら 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 7 - 9 2 8 8	23
18	か り ゆ し 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 2 9 - 3 7 3 7	25
19	室 川 夜 間 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 2 1 - 3 0 9 0	17
20	愛 の 泉 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 7 - 0 1 9 5	24
21	白 鳥 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 7 - 2 7 4 0	22
37	海 の 子 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 4 - 3 3 7 1	42
23	す み れ っ こ 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 7 - 7 4 3 2	22
24	夢 の 園 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 8 - 8 6 6 2	30
25	サ ム エ ル 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 2 9 - 4 1 5 2	34
26	登 川 み ら い 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 4 - 3 9 7 1	28
27	キ デ ィ ー 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 7 - 6 6 2 0	24
28	め ぐ み 野 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 8 - 2 0 3 6	39
29	ぶ だ う の 木 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 7 - 3 2 0 0	29
30	あ お ぞ ら っ 子 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 9 - 3 0 8 0	33
31	カ フ ー 美 里 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 7 - 1 0 4 7	31
32	か り ゆ し 諸 見 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 2 - 8 2 0 0	30
33	か ま ら き ら き ら 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 2 - 1 6 3 3	14
34	美 浦 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	9 3 7 - 6 3 8 5	21
		計 B	949
		合計 A+B	1,097

## 1 幼年消防クラブの目的

- (1) 正しい火の取り扱い方を教える。 火遊びの防止
- (2) 消防の仕事に対する理解を深める。 社会教育の一端
- (3) 防火思想の普及

何にでも興味をもち始め、大人の真似をしたくなる幼児に、生活に欠かせない火の大切なことと、火の取り扱いを間違えたときの恐ろしさを教え、火遊び、火のいたずらによる火災の防止を図り、また災害時の身の守り方を実につけさせるとともに、防火意識の根を植え付けることは、極めて大切なことであると考えます。

2番目に、消防の仕事を理解させ、消防職、団員が、住民生活の安全を守るため、24時間仕事している実態にふれさせることは、社会学習の一環として将来立派な社会の一員となる素地を作る上で役に立つものであると思います。

3番目に、幼年消防クラブの幼児達が、熱心に幼年消防として行動しているところを、保護者、兄弟や近隣の人々が見たり親しんだりする中で、地域における防火思想の普及に貢献し、幼年間の友達意識の深まりと自立心の発展に効果があるものと考えます。

## 2 クラブ活動

クラブ活動としては、あくまでも所、園、等の自主性、年間行事を尊重し、所、園や幼児達の負担になると思われるもの、危険性のあるものは避け、基本的に幼年児が楽しく火や防災について学べる活動が目的です。

(活動例)

防火教室（火遊びはやめよう、花火教育、防火映画等）

消防署見学

避難訓練

## 3 法被（はっぴ）の貸与

幼年児と付き添いの先生に法被を貸与し、それを着け消防隊員、団員にふんすることにより、消防を身近に感じ防火意識の高揚を高める。

# 防火宣言

- 一、私たち女性防火クラブは、火災予防の原点にたち、家庭における防火防災に努めます。
- 一、私たち女性防火クラブは、地域における防火思想の普及高揚を図り、火災のない明るい地域づくりに励みます。
- 一、私たち女性防火クラブは、全世帯の女性がクラブに加入することを目標に、組織の充実拡大を図っていきます。
- 一、私たち女性防火クラブは、積極的に自主防災活動を行い火災のない明るい沖縄市づくりに努力します。

以上のとおり宣言します。

平成31年3月31日  
沖縄市女性防火クラブ

# 防火のちかい

わたしたち 幼年消防クラブ員は  
つぎのとおり ちかいます。

- 1 私たちは ぜったいに 火遊びはしません。
- 2 お父さん お母さん 先生のおしえを守ります。
- 3 私たちは 元気な 明るい こどもになります。

『ひとつづつ』

いいね！で確認

2019年度 全国統一防火標語



●市章

沖縄市の頭文字「お」を三つの円を主体として図案化したもので、三つの円をガッチリと組み合わせ、市民の「調和・希望・平和」を表象したものです。

(デザイン／豊増秀男)

---